

●日本語教育史研究文献－論文編Ⅱ－

- 4361)阿久澤弘陽・岡村佳代・黒崎佐仁子・棚橋明美(2021)「専門教育への適切な接続を目指した日本語教育の効果と課題の検証」『小出記念日本語教育研究会論文集』第29号 小出記念日本語教育研究会
- 4362)朝日祥之(2021)「戦中期のアメリカにおける日本語教育」『東京外国語大学国際日本学研究報告』no.11 東京外国語大学大学院国際日本学研究院
- 4363)朝日祥之(2021)「ハワイの日系移民史における日本語の役割」『東京外国語大学国際日本学研究報告』no.11 東京外国語大学大学院国際日本学研究院
- 4364)朝日祥之(2021)「人の移動の社会言語学－日本語の事例を中心として－」『東京外国語大学国際日本学研究報告』no.11 東京外国語大学大学院国際日本学研究院
- 4365)アズハリヤ・アユ(2021)「1960年代インドネシア高等教育における日本語関連学科の創設過程－2つの系統の形成と日本の関与に着目して－」『アジア教育』第15巻 アジア教育学会
- 4366)鮎澤孝子(2021)「小出詞子先生とご尊父小出満二氏」『小出記念日本語教育研究会論文集』第29号 小出記念日本語教育研究会
- 4367)鮎澤孝子(2021)「フィリピンでの小出詞子先生」『小出記念日本語教育研究会論文集』第29号 小出記念日本語教育研究会
- 4368)葉慧君(2021)「日本統治時代における台湾人先住民の日本語教育－タイヤル族の日本語使用状況の考察－」『新世紀人文学論究 全地球時代からの言語学－日本語学・対照言語学・日本語教育からの眺望－田中寛教授古希・退職記念論集』第5号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4369)井川充雄(2021)「台湾におけるラジオ塔－日本統治下の台湾におけるラジオの共同聴取－」『応用社会学研究：立教大学社会学部研究紀要』No.63 立教大学社会学部
- 4370)池田誠司(2021)「日本統治解放後の韓国における日本語敬語学習についての一考察－韓国高校第2外国語選択科目である日本語教科書の分析をとおして－」『日本海域研究』第52号 金沢大学環日本海域環境研究センター
- 4371)池田匡史、黒川麻実(2021)「植民地間の民話教材の流用はいかになされたのか？－朝鮮・満洲・南洋群島の「水中の玉」－」『全国大学国語教育学会国語科教育研究：大会研究発表要旨集』141 全国大学国語教育学会

- 4372)池田匡史・黒川麻実(2021)「植民地<国語>教科書における民話教材の位相―満洲・朝鮮に着目して―」『読書科学』第 62 巻第 2 号 日本読書学会
- 4373)石川創(2021)『『早稲田日本語研究』創刊号から第 29 号までを振り返って』『早稲田日本語研究』第 30 号 早稲田大学日本語学会
- 4374)板橋孝幸、岩本廣美(2021)「台南大学所蔵資料にみる昭和戦前期台湾の郷土教育運動―台南師範学校を中心に―」『奈良教育大学紀要. 人文・社会科学』第 70 巻第 1 号 奈良教育大学
- 4375)伊月知子(2021)「『満洲国』の日本語教育」に対する戦中から戦後にかけての評価―戦中・戦後の新聞・雑誌・記録をたどる―」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義―歴史、文学、植民地教育史研究の還流―田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4376)井上晴美(2021)「中国帰国者一世・二世・三世の中国語に対する意識調査―今後の日本における、多文化共生社会の実現に向けて―」『人文×社会』2021 年 1 巻 1 号 『人文×社会』編集委員会
- 4377)今村圭介(2021)「福祉言語学的研究を目指したパラオ語日本語借用語辞典の作成」『社会言語科学』第 23 巻第 2 号 社会言語科学会
- 4378)魏吉菲(2021)「青島における中国人日本語教員の養成―第 2 次日本占領期を中心に―」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第 24 号 植民地と国語教育』皓星社
- 4379)魏佳寧(2021)「中国の大学における日本語専攻と日本語学科(学部)に関する考察」『観光学論集』16 長崎国際大学国際観光学会
- 4380)植田晃次(2021)「銀行員・弓場重栄と朝鮮語―日本近代朝鮮語教育史の視点から―」『言語文化研究』第 47 巻 大阪大学大学院言語文化研究科
- 4381)上田崇仁(2021)「旧韓末『日語読本』考―KH coder によるテキストマイニング・コーディングルールを検討―」『南山大学日本文化学科論集』第 21 号 南山大学日本文化学科
- 4382)上田崇仁(2021)「植民地朝鮮で「国語」は何を教えたのか」『東アジア文化研究』第 1 号 東亜大学東アジア文化研究所
- 4383)上田崇仁(2021)「大学における授業実践報告「日本語教育史」」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第 24 号 植民地と国語教育』皓星社

- 4384)上田崇仁(2021)『『日語読本』の特徴：併合前の教科書は何を教えたのかーテキストマイニングで見えてくることー』『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第4号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4385)上田美紀・渡辺民江(2021)「実践報告 日本語教育実習 2003 年度から 2020 年度まで」『中部大学教育研究』第21号 中部大学大学企画室高等教育推進部
- 4386)上野和昭(2021)『『早稲田日本語研究』第30号によせて』『早稲田日本語研究』第30号 早稲田大学日本語学会
- 4387)上野田鶴子(2021)「ICU 初期における日本語教師養成」『小出記念日本語教育研究会論文集』第29号 小出記念日本語教育研究会
- 4388)上野田鶴子(2021)「小出詞子先生と日本語教育学会」『小出記念日本語教育研究会論文集』第29号 小出記念日本語教育研究会
- 4389)鵜飼香奈子(2021)「メキシコにおける「JF にほんご e ラーニング みなと」 普及への取り組みと成果」『国際交流基金日本語教育紀要』第17号 国際交流基金日本語国際センター
- 4390)宇賀神一(2021)「国語教育史研究と植民地」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第24号 植民地と国語教育』皓星社
- 4391)梅本和義(2021)「コロナ禍における国際文化交流ー国際交流基金の半世紀とこれから」ANA ホールディングス株式会社・ANA 総合研究所編(2021)『ていくおふ No.165 ANA ホールディングス
- 4392)江口泰生(2021)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈 10(文例集 1)」『岡山大学文学部紀要』第74号 岡山大学文学部
- 4393)遠藤佳那子(2021)「W.G.アストン『日本文語文典』初版 訳註稿(1)」『鶴見大学紀要. 第1部, 日本語・日本文学編』58号 鶴見大学
- 4394)大池公紀(2021)「日本語学科専門科目「日本語表現研究Ⅰ・Ⅱ」の学修内容の変遷」『明海大学教職課程センター研究紀要』第4号 明海大学教職課程研究紀要編集委員会
- 4395)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(30) 国際化の中での日本語教育①」『グローバル天理』第22巻第1号 天理大学おやさと研究所

- 4396)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(31)国際化の中での日本語教育②」『グローバル天理』第22巻第2号 天理大学おやさと研究所
- 4397)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(32)国際化の中での日本語教育③」『グローバル天理』第22巻第3号 天理大学おやさと研究所
- 4398)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(33)国際化の中での日本語教育④」『グローバル天理』第22巻第4号 天理大学おやさと研究所
- 4399)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(34)国際化の中での日本語教育⑤」『グローバル天理』第22巻第5号 天理大学おやさと研究所
- 4400)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(35)国際化の中での日本語教育⑥」『グローバル天理』第22巻第6号 天理大学おやさと研究所
- 4401)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(36)日本語教育と異文化伝道①」『グローバル天理』第22巻第7号 天理大学おやさと研究所
- 4402)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(37)日本語教育と異文化伝道②」『グローバル天理』第22巻第8号 天理大学おやさと研究所
- 4403)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(38)日本語教育と異文化伝道③」『グローバル天理』第22巻第9号 天理大学おやさと研究所
- 4404)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(39)日本語教育と異文化伝道④」『グローバル天理』第22巻第10号 天理大学おやさと研究所
- 4405)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(40)日本語教育と異文化伝道⑤」『グローバル天理』第22巻第11号 天理大学おやさと研究所
- 4406)大内泰夫(2021)「日本語教育と海外伝道(最終回)日本語教育と異文化伝道⑥」『グローバル天理』第22巻第12号 天理大学おやさと研究所
- 4407)大澤希余子(2021)「「やさしい日本語」が創り出す世界」『金城学院大学大学院文学研究科論集』27号 金城学院大学大学院文学研究科
- 4408)太田哲男(2021)「崇貞学園史断章—年表作成作業のなかから—」桜美林学園 IR・アーカイブスセンター学園史編さん室(2021)『学園史研究』創刊号 桜美林学園

- 4409)大野ロベルト(2021)『『土佐日記』英訳ことはじめーフローラ・ベスト・ハリスの業績ー』『日本研究』第 62 集 国際日本文化研究センター
- 4410)小川誉子美(2021)「ソ連の日本語研究・日本語教育ーレニングラードを中心にー」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4411)奥田浩司(2021)「『満州国』及び旧植民地における高齢日本語話者へのインタビュー (2)日本語・日本文化の記憶に関する報告」『愛知教育大学大学院国語研究』第 29 号 愛知教育大学大学院国語教育専攻
- 4412)長田友紀・松崎寛・澤田浩子・入山美保・吉田武男(2021)「大学における教職課程と日本語教育学との連携に関する考察ー筑波大学「日本語学習支援者養成修了証プログラム」の成立経緯とその課題ー」『筑波大学教育学系論集』45 巻 2 号 筑波大学人間系教育学域
- 4413)小野憲一(2021)「日本統治時代の台湾における私立学校の歴史的経緯に関する研究 (6)ー「私立台湾仏教中学林」の学校規則改正と学校改革における背景と内容についてー」『帝京平成大学紀要』第 32 巻 帝京平成大学
- 4414)海外日本語教育学会(2021)「海外日本語教育の次の 10 年を展望する(前編)」『海外日本語教育研究』第 12 号 海外日本語教育学会
- 4415)海外日本語教育学会(2021)「海外日本語教育の次の 10 年を展望する(後編)」『海外日本語教育研究』第 13 号 海外日本語教育学会
- 4416)賀川真理(2021)「第二次世界大戦中にアメリカによって強制連行された日系ペルー人ーブランカ・カツラさんの物語を通してー」『阪南論集 社会科学編』Vol.56 No.2 阪南大学学会
- 4417)垣内哲(2021)「研究生制度の期限と変遷ー東京大学における誕生から留学生依存の現状までー」『桜美林大学研究紀要. 総合人間科学研究』第 1 号 桜美林大学
- 4418)神吉宇一(2021)「共生社会を実現するための日本語教育とは」『社会言語科学』第 24 巻第 1 号 社会言語科学会
- 4419)金塚基・新関ヴァッド郁代(2021)「日本国際教育学会 30 年のあゆみー創立 20 周年から 30 周年までの組織活動を中心にー」学会創立 30 周年記念論集編集委員会編・佐藤千津編著(2021)『コミュニティの創造と国際教育ー日本国際教育学会創立 30 周年記念論集ー』明石書店

- 4420)加納なおみ(2021)「「基礎日本語」から「アカデミック・リテラシーズ」へーアクティブ・ラーニング化とオンライン化を通じた 2019 年以降の授業改革ー」『教育開発推進機構紀要』第 12 号 國學院大學教育開発推進機構紀要
- 4421)加納寛(2021)「戦時期日本の対タイ宣伝に関する研究の現状と課題」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4422)蒲谷宏(2021)「日本語教育研究科における日本語研究」『早稲田日本語研究』第 30 号 早稲田大学日本語学会
- 4423)ガリーナ・ヴォロビヨワ(2021)「キルギス日本語教師会活動の記録集としての会報：創刊から 20 周年を迎えて」『日本キルギス文化研究会会誌』第 5 号 日本キルギス文化研究会
- 4424)川上郁雄(2021)「緒言：日研設立 20 周年記念特集として」『早稲田日本語教育学』第 30 号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 4425)川上郁雄・蒲谷宏(2021)「緒言：日研設立 20 周年記念特集として(その 2)」『早稲田日本語教育学』第 31 号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 4426)川上尚恵(2021)「釘本久春の日本語と国語ー戦中から戦後にかけてー」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4427)川口敦子(2021)「セーリス『日本渡航記』のローマ字書き日本語の表記」『三重大学日本語学文学』第 32 号 三重大学日本語日本文学研究室
- 4428)川崎加奈子、新美達也、Nguyễn Thị Hương Trà(2021)「ベトナムにおける日本語教育と人材供給に関する一考察」『長崎外大論叢』第 25 号(別冊) 長崎外国語大学
- 4429)河路由佳(2021)「ドナルド・キーンを 30 歳にして日本文学史家たらしめた条件ーなぜ、日本留学前に Japanese Literature(1953)が書けたのかー」『ことばと文字』14 号 日本のローマ字社
- 4430)康鳳麗、森脇健夫、坂本勝信、小西知代(2021)「初任期から中堅期にかけての日本語教師の授業スタイルの形成ー2 名の中国人日本語教師の 14 年間の足跡を追ってー」『鈴鹿医療科学大学紀要』第 27 号 鈴鹿医療科学大学
- 4431)神田邦彦(2021)「ロドリゲス『日本大文典』所引『発心集』の検討」『花園大学文学部研究紀要』第 53 号 花園大学文学部

- 4432)北川知子(2021)「植民地朝鮮の国語読本編纂―第1期と第2期を比較して―」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第24号 植民地と国語教育』皓星社
- 4433)北條淳子(2021)「小出詞子先生と日本語教科書」『小出記念日本語教育研究会論文集』第29号 小出記念日本語教育研究会
- 4434)北村嘉恵(2021)「植民地社会のなかの修学経験―台湾南部のある家族の軌跡―」『歴史評論』857号 歴史教育評議会
- 4435)北村武士・川口泰広(2021)「タイ国の日本語教育史関連インタビュー資料紹介―チェンマイ地域の学習者等へのインタビュー―」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義―歴史、文学、植民地教育史研究の還流―田中寛教授古希・退職記念論集』第4号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4436)キム・ダソム(2021)「「共通語としての日本語」という議論の変遷―土居光知の「基礎日本語」と＜やさしい日本語＞の比較から―」『言語政策』17 日本言語政策学会
- 4437)金蘭美・金庭久美子(2021)「作文支援システムに必要な「支援」―日本語学習支援システムの変遷と展望―」『ときわの杜論叢』第8号 横浜国立大学国際戦略推進機構
- 4438)楠家重敏(2021)「イギリス外交官・通訳見習の研究」『杏林大学外国語学部紀要』第33号 杏林大学外国語学部
- 4439)久保田美子(2021)「日本語教育におけるビリーフ研究の概観―2015年以降の海外の学習者・教師を対象とした研究」『水谷信子記念日本語教育論集』第3・4合併号 水谷信子記念日本語教育研究会
- 4440)クリス・ベルアド(2021)「レオン・ド・ロニー受容小史」『福澤手帖』189 福澤論吉協会
- 4441)桑原太朗(2021)「第一次世界大戦前後における対中文化事業論の変遷―『外交時報』における言説の考察―」『ソシオサイエンス』Vol.27 早稲田大学先端社会科学研究所
- 4442)甲賀真広(2021)「「協和語」は引揚げと共に消えたのか?―旧満洲国をめぐる接触言語の連続性―」『日本語研究』第41号 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会

- 4443)合津美穂(2021)「日本植民地期台湾における仮名遣い問題ー公学校用「国語」教科書の仮名遣いをめぐってー」『ことばの研究』第 13 号 長野県ことばの会
- 4444)國分建志(2021)「誤植の殿堂『説日語』ーその誕生と変遷(十)ー」『文學藝術』67 共立女子大学文芸学部
- 4445)小島和枝(2021)「W.G.アストン「日本神話」(1899)の諸問題」『東日本英学史研究：日本英学史学会東日本支部紀要』第 20 号 日本英学史学会東日本支部事務局
- 4446)古藤友子・福岡寿美子・金沢協子(2021)「姫路獨協大学外国語学部日本語学科」『小出記念日本語教育研究会論文集』第 29 号 小出記念日本語教育研究会
- 4447)小鳥居伸介、松本剛次(2021)「インドネシアの高等教育機関における日本語教育と日系企業への人材供給に関する一考察」『長崎外大論叢』第 25 号 長崎外国語大学
- 4448)小林茂子(2021)「南洋庁にみる現地児童の公学校教育ー時期の異なる「学校要覧」を手がかりにー」『歴史評論』857 号 歴史教育評議会
- 4449)小針誠(2021)「永田和寛『理想の国家』という見果てぬ夢：芦田恵之助の『随意選題』論再考」について」『日本教育史研究』第 40 号 日本教育史研究会
- 4450)斎藤達哉・王伸子(2021)「釘本久春とハワイの日本語ー1965 年における日系人社会の日本語環境ー」『専修国文』第 109 号 専修大学日本語日本文学文化学会
- 4451)酒井健太郎(2021)「1930 年代の日タイ文化交流事業への柳澤健の関わりー柳澤健研究 3ー」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4452)酒井順一郎(2021)「第 1 回国語対策協議会に於ける山口喜一郎の叫び」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4453)阪口諒(2021)「チェンバレン『アイノ民話』中のパナンペ・ペナンペ譚」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』23 号 千葉大学ユーラシア言語文化論講座
- 4454)佐久間勝彦(2021)「ディスカッション(第 8 回)海外日本語教育の活動と研究に向けて投じる一石ー海外日本語教育学会が正式に発足して 10 年。今思うことー」『海外日本語教育研究』第 12 号 海外日本語教育研究



- 4455)櫻井直子(2021)「ヨーロッパの日本語教育の変容と展望－CEFR の受容と浸透から－」『日本語教育』178 号 日本語教育学会
- 4456)佐々木倫子(2021)「朝日カルチャーセンター日本語教師養成講座」『小出記念日本語教育研究会論文集』第 29 号 小出記念日本語教育研究会
- 4457)佐々木倫子(2021)「国内の日本語教育における実践と研究－その変遷と展望－」『日本語教育』178 号 日本語教育学会
- 4458)笹原宏之(2021)「社会科学研究科・社会科学部における日本語研究」『早稲田日本語研究』第 30 号 早稲田大学日本語学会
- 4459)佐藤広美(2021)「芦田恵之助と朝鮮第 2 期普通学校国語読本の編纂をめぐって」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第 24 号 植民地と国語教育』皓星社
- 4460)佐藤広美(2021)「発題 植民地と国語教育－芦田恵之助と朝鮮第 2 期普通学校国語読本編纂－」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第 24 号 植民地と国語教育』皓星社
- 4461)佐藤幸代(2021)「留学生のキャリア形成支援・就職支援をめぐる研究の動向と主要論点」『名古屋高等教育研究』第 21 号 名古屋大学高等教育研究センター
- 4462)佐藤由利子(2021)「留学生 30 万人計画の成果と課題－成長戦略、大学のグローバル化及び日本語教育との関係からの考察－」『日本評価研究』第 21 巻第 2 号 日本評価学会
- 4463)澤崎文(2021)「文学学術院における日本語研究の 10 年－卒論／修論／博論を振り返る－」『早稲田日本語研究』第 30 号 早稲田大学日本語学会
- 4464)鹿浦佳子(2021)「関西外国語大学留学生別科のオンラインクラスへの挑戦と報告－コロナ禍の 2020 年春学期から 2021 年秋学期にかけて－」『関西外国語大』学留学生別科日本語教育論集』第 31 号 関西外国語大学留学生別科
- 4465)嶋津拓(2021)「堀田善衛と戦時下の国際文化振興会－国際文化交流史研究の観点から『若き日の詩人たちの肖像』を読む－」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第 15 号 埼玉大学日本語教育センター
- 4466)賈鵬飛(2021)「張我軍の日本語教育の実践と思想」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義－歴史、文学、植民地教育史研究の還流－田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会

- 4467)白石勝己(2021)「地殻変動を起こす日本語教育－日本語教育推進法の意義と概要－」『月刊アジアの友』第 547 号 (財)アジア学生文化協会
- 4468)白柳弘幸(2021)「台湾の高齢者の方々はなぜ日本語を話せるのか－玉川学園中等部「現代社会」特別授業より－」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第 24 号 植民地と国語教育』皓星社
- 4469)白柳弘幸(2021)「槻木瑞生氏寄贈『満洲教科書』・『満洲の教科書』について」『玉川大学教育博物館紀要』第 18 号 玉川学園大学教育博物館
- 4470)祝利(2021)「『満洲国』における官吏に対する語学教育－1938 年文官令実施前まで－」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義－歴史、文学、植民地教育史研究の還流－田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4471)菅田陽平(2021)「中国の高等教育機関における「日本語専攻」教育の動向－『普通高等学校本科專業類教学質量国家標準』への分析を通して－」『日本語教育方法研究会誌』vol.28,No.1 日本語教育方法研究会
- 4472)杉松香苗(2021)「『交易問答』明治 14 年版の日本語学習用テキストとしての特徴」『國學院大學日本語教育研究』第 12 号 國學院大學日本語教育研究会
- 4473)杉松香苗(2021)「明治初期の西洋人による口語文典・会話書における可能動詞の取り扱い」『國學院大學大学院紀要:文学研究科』第 52 輯 國學院大学大学院
- 4474)園田博文(2021)「昭和 19 年台湾刊『壮丁読本』の規範的な軍隊言葉」『同朋文化』16 号 同朋大学人文学会
- 4475)園田博文(2021)「昭和 20 年までの海南島における日本語教科書と海南語会話書－『ニッポンゴ』『海南島語会話』『海南語初歩』の果物語彙を中心に－」近代語学会編(2021)『近代語研究』第 22 集 武蔵野書院
- 4476)園田博文(2021)「保育細案 3 種に見られる国語の発音指導－昭和前期台湾を中心に－」『閲蔵：同朋大学大学院文学研究科研究紀要』16・17 号 同朋大学大学院文学研究科
- 4477)戴智阿(2021)「まなざしの「古層」と「深層」－清末訪日中国知識人の対日観を中心に－」『Ignis』Vol.1 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 4478)高田智和(2021)「米国陸海軍日本語学校の漢字教材『kanji Book』」加藤重広・岡埜裕剛編(2021)『日本語文字論の挑戦 表記・文字・文献を考えるための 17 章』勉誠出版

- 4479)高野寿子(2021)「商大の日本語プログラムについて」『小樽商科大学人文研究』第141輯 小樽商科大学
- 4480)武田珂代子(2021)「戦時諜報活動と翻訳が交わる時—日本海軍「甲事件」「乙事件」と米日系二世語学兵—」『中央公論』2022年1月号 中央公論新社
- 4481)竹本英代(2021)「戦後の日語文化協会に関する研究」『福岡教育大学紀要』第70号 第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 4482)田中寛(2021)「【最終講義】私の日本語教育、日本語研究の歩み—＜責任の言語学＞序説—」『新世紀人文学論究 全地球時代からの言語学—日本語学・対照言語学・日本語教育からの眺望—田中寛教授古希・退職記念論集』第5号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4483)田中寛(2021)「戦時期における日本語の進出と言語文化建設—南方諸地域を中心に—」『語学教育フォーラム』第36号 大東文化大学語学教育研究所
- 4484)田中寛(2021)「南へゆくニッポン—日本語南方進出の理想と現実—」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義—歴史、文学、植民地教育史研究の還流—田中寛教授古希・退職記念論集』第4号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4485)田中寛(2021)「遙かなる湖南—わが「青春中国」の日々を顧みて—」『新世紀人文学論究 全地球時代からの言語学—日本語学・対照言語学・日本語教育からの眺望—田中寛教授古希・退職記念論集』第5号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4486)田中寛(2021)「吾は如何にして日本語教師になりしか」『外国語学会誌』第50号 大東文化大学外国語学会
- 4487)田中寛(2021)「吾は如何にして日本語教師になりしか—自分史的回顧抄録—」『新世紀人文学論究 全地球時代からの言語学—日本語学・対照言語学・日本語教育からの眺望—田中寛教授古希・退職記念論集』第5号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4488)田中祐輔(2021)「神奈川県教育委員会による中国研修生招聘事業—日本の地方自治体が取り組んだ中国の日本語教師養成—」『ことばと文字』14号 日本のローマ字社
- 4489)田中祐輔(2021)「戦後日本語教科書はいかなることばを教えてきたのか」李在鎬編(2021)『データ科学×日本語教育』ひつじ書房
- 4490)田中祐輔, 川端祐一郎(2021)「『日本語教育』掲載論文の引用ネットワーク分析—日本語教育研究コミュニティの輪郭描写—」『日本語教育』178号 日本語教育学会

- 4491)田中祐輔(2021)「日本語教育の歴史的データとしての教科書」李在鎬編(2021)『データ科学×日本語教育』ひつじ書房
- 4492)谷光(2021)「外国につながる子どもたちと共に一札幌子ども日本語クラブの活動から見える支援の現状と課題」『公教育システム研究』第20号 北海道大学大学院教育学研究院教育行政学研究室・学校経営論研究室
- 4493)谷口ナタリア愛香(2021)「ブラジルポルトガル語において意味変化を起こした日本語起源借用語」『日本語研究』第41号 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- 4494)玉置充子(2021)「日本統治期の台湾の「国語」普及と教化団体－1920年代の台北州鶯歌庄を例として－」『拓殖大学日本語教育研究』第6号 拓殖大学日本語教育研究所
- 4495)檀上祐子(2021)「ブラジル「コロニア版日本語教科書」と佐野保太郎」『＜教育と社会＞研究』第31号 一橋大学＜教育と社会＞研究会
- 4496)趙海城(2021)「中国における日本語教育の現状と課題」『明星大学全学共通教育研究紀要』第3号 明星大学教育学部全学共通教育委員会
- 4497)陳奕霖(2021)「『国標』による中国の高等教育は新たな転換点を迎えるか－資質・能力に目を向けてきた日本語専攻教育から－」『日本教育学会大会研究発表要項』80巻 日本教育学会
- 4498)陳力衛(2021)「成城学校中国人留学生史へのアプローチ」『成城大學經濟研究』第231号 成城大学経済学会
- 4499)曹大峰(2021)「中国の日本語教育の変容と展望」『日本語教育』178号 日本語教育学会
- 4500)坪田珠里(2021)「ソ連や北朝鮮で日本語を学んだベトナム人たちのオーラル・ヒストリー－日本語の「学び」と「教え」の経験の解釈－」『日本オーラル・ヒストリー研究』17号 日本オーラル・ヒストリー学会
- 4501)徳間晴美・山内薫(2021)「大学における正課外の日本語学習支援のあり方を考える－日本語相談室の立ち上げと今後の展望－」『カルチャー：明治学院大学教養教育センター紀要』15巻1号 明治学院大学教養教育センター

- 4502) トムソン木下千尋(2021)「日本語を伝えるーオーストラリアにおけるケイショウゴとしての日本語ー」『比較日本学教育研究部門研究年報』第 17 号 お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所
- 4503) 寅丸真澄・吉田好美(2021)「「わせた日本語サポート」の挑戦ー全留学生に開かれた日本語自律学習支援を目指してー」『早稲田日本語教育実践研究』第 9 号 早稲田大学日本語教育研究センター
- 4504) 中川健司(2021)「介護の日本語教育の研究上の関心の推移」『日本語教育方法研究会誌』vol.28, No.1 日本語教育方法研究会
- 4505) 永田和寛(2021)「「理想の国家」という見果てぬ夢ー芦田恵之助の「随意選題」論再考ー」『日本教育史研究』第 40 号 日本教育史研究会
- 4506) 中東靖恵(2021)「岡山県総社市における多文化共生のまちづくりとしての地域日本語教育ー「総社モデル」の構築と展開ー」『ことばの研究』第 13 号 長野県ことばの会
- 4507) 中村重穂(2021)「長谷川雄太郎研究・その 4ー『日語入門』修正過程の分析に基づく考察ー」『日本語・国際教育研究紀要』第 24 号 北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部
- 4508) 中村妙子(2021)「小出詞子先生と ICU の日本語教育」『小出記念日本語教育研究会論文集』第 29 号 小出記念日本語教育研究会
- 4509) 西原鈴子(2021)「小出記念日本語教育研究会」『小出記念日本語教育研究会論文集』第 29 号 小出記念日本語教育研究会
- 4510) 『日本と中国』広報部(2021)「日中友好人物伝 中国人留学生の父、松本亀次郎」『日本と中国』第 2252 号 公益社団法人日本中国友好協会
- 4511) 布尾勝一郎(2021)「日本における日本語教育政策とその課題」柿原武史・仲潔・布尾勝一郎・山下仁編著(2021)『対抗する言語ー日常生活に潜む言語の危うさを暴くー』三元社
- 4512) 沼田尚道(2021)「昭和 10 年代日本の海外放送とタイ・バンコクーラジオ放送聴取普及、ラジオ塔とラジオ体操が担ったことー」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義ー歴史、文学、植民地教育史研究の還流ー田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会

- 4513)野田智子(2021)「日本統治時代の台湾で学校教育として日本語を習得した人の現在の日本語使用－簡(2011)に倣う－」『多文化社会研究』Vol.7 長崎大学多文化社会学部
- 4514)野村淳一(2021)「大韓帝国期の「国語読本」教科書の特徴－「普通学校学徒用国語読本」を中心に－」『千葉大学人文公共学研究論集』第40号 千葉大学大学院人文公共学府
- 4515)野村淳一(2021)「朝鮮総督府編纂『普通学校国語補充教材について』」日本植民地教育史研究会(2021)『植民地教育史研究年報第23号 南洋群島・南方占領地、満洲教育史研究の蓄積と課題』皓星社
- 4516)バーバラ・ハートリー(2021)「世界の中の日本研究：批判的提言を求めて－オーストラリアの側面から－」井上章一編(2021)『世界の中の日本研究：批判的提言を求めて－創立30周年記念国際シンポジウム－』国際日本文化研究センター
- 4517)朴賢率(2021)「日本統治下朝鮮の国語教科書(架蔵)について」『戦争と萬葉集』第3号 戦争と萬葉集研究会
- 4518)長谷川由香(2021)「【JLPプログラム実践報告】理工系学生のための日本語教育の開始」『多文化社会と言語教育』Vol.1 法政大学グローバル教育センター日本語教育プログラム
- 4519)浜口裕子・家近亮子(2021)「留学生に関する成城学校史料目録－個人情報保護法と歴史史料－」『拓殖大学論集. 政治・経済・法律研究』第22巻第1号 拓殖大学政治経済研究所
- 4520)樋浦郷子(2021)「韓国併合直後の公立普通学校－『草溪公立普通学校沿革誌』を手がかりとして－」『教育史フォーラム』第16号 教育史フォーラム・京都
- 4521)桧山真一(2021)「ネフスキイとファリシズム(1)南泉寺の女夫石」『なろうど』82号 ロシア・フォークロアの会
- 4522)桧山真一(2021)「ネフスキイとファリシズム(2)加藤玄智」『なろうど』83号 ロシア・フォークロアの会
- 4523)平高史也(2021)「言語教育における「共生」を問う」『社会言語科学』第24巻第1号 社会言語科学会
- 4524)福岡昌子(2021)「日本語教育を軸とした相互交流促進のための外国人教員短期招聘事業」『三重大学国際交流センター紀要』第16号 三重大学国際交流センター

- 4525)藤森智子(2021)「1920年代台湾における「国語普及」—台北州海山郡鶯歌庄の「国語練習会」を例として—」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義—歴史、文学、植民地教育史研究の還流—田中寛教授古希・退職記念論集』第4号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4526)藤原雅憲(2021)「Readings in Japanese Language and Linguistics の概要—専門日本語教育の階梯—」『金城学院大学論集. 人文科学編』18巻1号 金城学院大学
- 4527)許哲(2021)「—在日朝鮮人研究者にとっての「日本語」」『文芸研究：明治大学文学部紀要』第144号 明治大学文芸研究会
- 4528)細川英雄・川上郁雄・蒲谷宏(2021)「鼎談：日研の養成教育を実践から問い返す」『早稲田日本語教育学』第31号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 4529)前野清太郎(2021)「植民地台湾における統治／被統治と複数の「漢文」問題—初期慣行調査からの考察—」『実践国文学』第100号 実践女子大学
- 4530)松井嘉和(2021)「英訳『古事記』とチェンバレンの訳業に見る西洋人の日本文化観」『大倉山論集』第67輯 大倉精神文化研究所
- 4531)松木正恵(2021)「教育・総合科学学術院における日本語研究の10年—卒論／修論／博論を振り返る—」『早稲田日本語研究』第30号 早稲田大学日本語学会
- 4532)松本和也(2021)「太平洋戦争期の文化工作言説—南方・諸民族・大東亜共栄圏—」『人文研究』No.204 神奈川大学人文学会
- 4533)水野剛也(2021)「ハワイの日系人と日本語新聞に関する歴史的背景—紙面分析にむけた先行研究のレビュー—」『政経論叢』第89巻1・2号 明治大学政治経済研究所
- 4534)南浦涼介・本間祥子(2021)「年少者日本語教育における研究課題の変遷—学校と教育の再構築へ向けて—」『日本語教育』179号 日本語教育学会
- 4535)宮淑、古田梨乃、平田友香(2021)「秋田県における日本語教育と秋田市日本語教室の変遷」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第13号 国際教養大学アジア地域研究連携機構
- 4536)宮尾與夫(2021)「近世戯画とその周辺(13)耳鳥斎以後(その5)『繪本古鳥圖賀比』とチェンバレンの『アイヌ昔噺集』(1)」『日本古書通信』86巻12号 日本古書通信社
- 4537)宮尾與夫(2021)「近世戯画とその周辺(14)耳鳥斎以後(その6)『繪本古鳥圖賀比』とチェンバレンの『アイヌ昔噺集』(2)」『日本古書通信』86巻6号 日本古書通信社

- 4538)宮尾與夫(2021)「近世戯画とその周辺(15)耳鳥斎以後(その 7)『繪本古鳥圖賀比』と  
チェンバレンの『アイヌ昔噺集』(3)」『日本古書通信』87 巻 1 号 日本古書通信社
- 4539)宮里厚子(2021)「フュレ神父の琉球滞在の記録」『琉球大学欧米文化論集』65 号  
琉球大学国際地域創造学部国際言語文化プログラム
- 4540)宮里厚子(2021)「琉球王国におけるフュレ神父の足跡」『島嶼地域科学』第 2 号 琉  
球大学島嶼地域科学研究所
- 4541)宮本花恵(2021)「明治期のロシア正教会による北海道宣教」『北海道立北方民族博物  
館研究紀要』第 30 号 北海道立北方民族博物館
- 4542)宮脇弘幸(2021)「日中戦争期日本軍占領区の文教政策－華北・蒙疆・華中における  
日本語普及の展開－」『宮城学院女子大学人文社会科学論叢』第 30 号 宮城学院大学  
人文社会科学研究所
- 4543)宮脇弘幸(2021)「日本軍の宣撫工作と日本語普及－華北占領地を中心に－」『新世紀  
人文学論究 全地球時代からの人文主義－歴史、文学、植民地教育史研究の還流－田  
中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記念号 新世紀人文学研究会
- 4544)八木和枝、小松知子(2021)「龍谷大学における交換留学生を対象とした「関西方  
言」授業の実践」『龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報』第 30 号龍谷大学  
グローバル教育推進センター
- 4545)八木正自(2021)「Bibliotheca Japonica(283) B. H. チェンバレンのアイヌ語研究」  
『日本古書通信』86 巻 7 号 日本古書通信社
- 4546)柳沼孝一郎(2021)「日本とメキシコ－日墨関係 140 年の系譜と展望－」『神田外語大  
学日本研究所紀要』第 13 号 神田外語大学日本研究所
- 4547)山口雅代(2021)「戦前・戦中のタイにおける日本語教育の「楽屋」と「舞台」－文  
化事業変遷と軍事的影響－」『新世紀人文学論究 全地球時代からの人文主義－歴  
史、文学、植民地教育史研究の還流－田中寛教授古希・退職記念論集』第 4 号特別記  
念号 新世紀人文学研究会
- 4548)山口雅代(2021)「チェンマイ日本語学校調査で生じた所在地についての疑問点－タ  
イ出張報告と共に－」『東京福祉大学・大学院紀要』第 11 巻第 1 号第 2 号合併号  
東京福祉大学・大学院学会誌等編集委員会



- 4549)山下哲生(2021)「マレーシアにおける理工系学部留学プログラムの変遷と今後の課題－HELP・MJHEP・UniKL JUP の日本語教育に焦点を当てて－」『拓殖大学日本語教育研究』第 6 号 拓殖大学日本語教育研究所
- 4550)山本一生(2021)「戦後における満洲教育史研究の展開－槻木瑞生氏の研究を中心に－」近現代東北アジア地域史研究会編(2021)『News letter』第 33 号 近現代東北アジア地域史研究会
- 4551)山本一生(2021)「青島における小中学校生徒の作文－中華民国臨時政府期を中心に－」『歴史評論』857 号 歴史科学協議会
- 4552)山本和行(2021)「教育学館の活動と植民地教育－日本『内地』と植民地台湾の関連に着目して－」『中国文化研究』第 37 号 天理大学中国文化研究会
- 4553)山本和行(2021)「「芝山巖精神」の形成過程－1920 年代後半から 1930 年代の学校における集団参拝を中心に－」『日本台湾学会報』第 23 号 日本台湾学会
- 4554)楊雪(2021)「日本はなぜ特異的な植民地「同化」を選んだのか」『文化交渉 東アジア文化研究科院生論集』第 11 号 関西大学大学院東アジア文化研究科
- 4555)兪三善(2021)「日本語の教材としてのアーネスト・サトウ『会話篇』－国内外の日本語会話書との対照から－」『実践國文學』99 号 実践国文学会
- 4556)兪三善(2021)「アーネスト・サトウ『会話篇』における人を指すことば」『実践國文學』100 号 実践国文学会
- 4557)横路啓子(2021)「植民地台湾におけるラジオの役割－国語教育との関係から－」『東京女子大学比較文化研究所紀要』第 82 巻 東京女子大学附属比較文化研究所
- 4558)吉田朋彦(2021)「W.G.アストンの『文語文典』における「活用しない主要語」の改訂－記述の視点の変化と人代名詞・指示代名詞の体系の再編－」『城西国際大学紀要』第 29 巻第 2 号 城西国際大学
- 4559)李康民(2021)「韓国における日本研究の現状と課題－日文研創立 30 周年に寄せて－」井上章一編(2021)『世界の中の日本研究：批判的提言を求めて－創立 30 周年記念国際シンポジウム－』国際日本文化研究センター
- 4560)李芳星・西澤泰彦(2021)「20 世紀前半に来日した中国人建築学生の留学実態に関する研究」『日本建築学会計画系論文集』Vol.86 No.780 日本建築学会

- 4561)李敏(2021)「90年代中国人留学生の日本留学の効果に関する研究ー北京日本学研究中心を例とするー」『大学論集』第53集 広島大学高等教育研究開発センター
- 4562)劉幸(2021)「日本占領期における北京輔仁大学の細井次郎ー彼の「愛の精神」を手掛かりにー」『教育学研究ジャーナル』第26号 中国四国教育学会
- 4563)羅永祥(2021)「1999-2019年における台湾と中国のJSP研究動向に関する調査ー華芸オンラインデータベースを中心にー」『日本語日本文学論叢』第16号 武庫川女子大学
- 4564)王鼎(2021)「清末における湖北省留日学生の留学経験とその影響」『アジア教育史研究』第30号 アジア教育史学会
- 4565)王娟、李無未(2021)「「詞組本位」との関連から見る松下大三郎の漢語「連詞」理論」『東アジア文化交渉研究』第14号 関西大学大学院東アジア文化研究科
- 4566)アストギク・ホワニシャン(2022)「アルメニアにおける日本語教育ーその歴史と現状ー」『日本語学』第41巻第4号 明治書院
- 4567)荒川みどり(2022)「翻訳:ロンドン大学東洋学部設置のための委員会報告書に収録された日本語学校経営者 W.J.S. Shand への審問ー20世紀初頭の英国内における日本語教育を知る手がかりとしてー」『杏林大学外国語学部紀要』第34号 杏林大学外国語学部
- 4568)安藤潤一郎(2022)「日中戦争期華北占領地の回民社会における中等教育事業ー北京の西北中学と実践女子中学の事例からー」『アジア文化研究所研究年報』56号 東洋大学アジア文化研究所
- 4569)Andrew Hall(2022)「Manchukuo School Textbooks and Identity Formation, 1932-1937」『新世紀人文学論究』第6号 新世紀人文学研究会〔英文〕
- 4570)イ・ヒョンジョン(李炫姪)(2022)「「日本語教育の推進に関する法律」による沖縄離島地域の結婚移住女性への日本語支援の在り方」『沖縄国際大学外国語研究』第26巻第1号 沖縄国際大学外国語学会
- 4571)池田匡史、黒川麻実(2022)「植民地間に共通する「国語」教科書民話教材ー朝鮮・満洲・南洋群島の「水中の玉」ー」『国語科教育』第92集 全国大学国語教育学会
- 4572)石濱裕美子(2022)「明治期チベット・モンゴル出身「留学生」の特異性について」『九州大学東洋史論集』49 九州大学文学部東洋史研究会

- 4573)和泉司(2022)「文学」と「受験」ー日本統治期台湾の日本語＝国語授業からはみだすものー」昭和文学会編集委員会編(2022)『昭和文学研究』第 85 集 笠間書院
- 4574)市江愛、吉田暁、石黒圭(2022)「日本語教育研究のための「かんたん日本語テスト」の開発ーテスト開発経緯と項目分析結果を中心にー」『国際学報』Vol.1 東京都立大学国際センター
- 4575)伊月知子(2022)「満洲国」の教師・学習者・文教関係者の戦後をたどるー文教部関係者が述懐する「満洲国」の日本語教育ー」『新世紀人文学論究』第 6 号 新世紀人文学研究会
- 4576)稲森雅子(2022)「1930 年前後の日中学術交流」『学術の動向』第 27 巻第 8 号 公益財団法人日本学術協力財団
- 4577)今村志紀(2022)「ジャパノロジストの文法書に見る「日本語」のとらえ方ーアストンとチェンバレンを比較してー」『上智大学文化交渉学研究』10 号 上智大学大学院文学研究科文化交渉学専攻
- 4578)呉衛峰(2022)「台湾現代詩における俳句の影響についてー一九九〇年代前半の中国語俳句ブームを中心にー」『東北公益文科大学総合研究論集』第 42 号 東北公益文科大学
- 4579)呉偉明(2022)「香港的日本研究ー回顧與前瞻(1942-2021)ー」『關西大學中國文學會紀要』第 43 號 關西大學中國文學會〔中文〕
- 4580)魏佳寧(2022)「中国の大学における日本語学科卒業生の就職に関する分析と考察」『観光学論集』第 17 巻 長崎国際大学国際観光学会
- 4581)上田崇仁(2022)「日語」と「国語」のはざまー旧韓末『日語読本』が併合後「国語読本」に改訂された時、『国語補充教材』は何を教えたのかー」『南山大学外国人留学生別科紀要』第 5 号 南山大学外国語教育センター
- 4582)宇賀神一(2022)「石森延男の幼児教育論ー「お話」による心と言葉の育ちをめぐってー」『神戸教育短期大学研究紀要』第 3 号 神戸教育短期大学
- 4583)宇賀神一(2022)『学習指導要領 国語科編(試案)』(1947 年度版)の成立過程ー日本側担当者・石森延男の到達点と限界ー」『全国大学国語教育学会国語科教育研究：大会研究発表要旨集』143 全国大学国語教育学会

- 4584)内田剛(2022)「第Ⅰ部 第1章 第14節 山口喜一郎の「社会的活動の道具」としての言語観」内田剛(2022)『国語科における「話し合い」学習の理論と実践』ひつじ書房
- 4585)内田智子(2022)「近代における五十音図に対する認識ーヘボン式ローマ字と日本語の音声ー」『國文學論叢』67輯 龍谷大学国文学会
- 4586)内海敦子(2022)「日本語の過去・現在・未来ー学生の研究テーマから見る変化ー」『明星大学研究紀要. 人文学部・日本文化学科』第30号 明星大学日野校
- 4587)榎井縁(2022)「夜間中学の「あってはならない」から「なくてはならない」へー法制度化への経緯と今後の課題ー」『未来共創』第9号 大阪大学人間科学研究科附属未来共創センター
- 4588)遠藤佳那子(2022)「W.G.アストン『日本文語文典』初版 訳註稿(2)」『鶴見大学紀要. 第1部, 日本語・日本文学編』59号 鶴見大学
- 4589)大谷みどり、中園博美(2022)「留学生と日本人学生の合同授業の取り組みー実践報告と今後の課題ー」『島根大学外国語教育センタージャーナル』第17号 島根大学外国語教育センター
- 4590)大西涼子、中村透子、渡会尚子、福富七重、竹田和代、土居美有紀、駒田朋子(2022)「初級後半日本語コースでの多読授業ー2018年秋学期から2021年春学期までの6学期間の実践ー」『南山大学外国人留学生別科紀要』第5号 南山大学外国人留学生別科
- 4591)大野ロベルト(2022)「英語圏における『土佐日記』受容史の概略(戦前編)ーアストンとハリスを中心にー」『異文化 論文編』23 法政大学国際文化学部企画広報委員会
- 4592)岡田茉弓(2022)「留学ビザ交付厳格化が日本語学校に与えた影響とその対処ーライフストーリーインタビューからの探求ー」『大阪大学言語文化学』Vol.31 大阪大学言語文化学会
- 4593)岡本輝彦(2022)「ベトナムの大学日文学科における日本語教育の現状と課題ーホンバン国際大学を中心にー」『中国学園紀要』第21号 中国学園大学
- 4594)小川誉子美(2022)「【巻頭言】創刊によせて」『日本語教育史研究』Vol.1 日本語教育史研究会
- 4595)小川誉子美(2022)「ハンガリーで日本語とモンゴル語を教授 外山高一の活動」(公財)日本のローマ字社(2022)『Rômazi no Nippon』dai 674 gô 日本のローマ字社

- 4596)小川誉子美(2022)「琉球ーパリ 日本語学習の息吹 (1) ー琉球にたどりついた宣教師ー」『ふらんす』2022年10月号 白水社
- 4597)小川誉子美(2022)「琉球ーパリ 日本語学習の息吹 (2) ー幕府を驚かせたフランス政府通訳の誕生ー」『ふらんす』2022年11月号 白水社
- 4598)小川誉子美(2022)「琉球ーパリ 日本語学習の息吹 (3) ーフランスを救ったく養蚕秘録>ー」『ふらんす』2022年12月号 白水社
- 4599)奥田浩司(2022)「『満州国』及び旧植民地における高齢日本語話者へのインタビュー (3)日本語・日本文化の記憶に関する報告」『国語国文学報』第80集 愛知教育大学国語教育講座
- 4600)小野澤正喜(2022)「アメリカ合衆国における日本文化論の形成に関する一考察ーコロンビア大学における2つの源流の形成を中心にー」『育英短期大学研究紀要』第39号 育英大学・育英短期大学
- 4601)甲斐睦郎(2022)「宮地裕先生の思い出」『日本語学』第41巻第2号 明治書院
- 4602)梶原綾乃(2022)「留学生別科とは何か ①ー留学生別科から見た日本語教育ー」『朝日大学留学生別科紀要』第19巻 朝日大学留学生別科
- 4603)梶原綾乃(2022)「留学生別科とは何か ②ー朝日大学留学生別科の8年間の生活指導ー」『朝日大学留学生別科紀要』第19巻 朝日大学留学生別科
- 4604)勝部三奈子(2022)「公的議論における「日本語学校の非常勤講師」ー議事録の中の成員カテゴリー化実践ー」『言語文化教育研究』第20巻 言語文化教育研究学会
- 4605)加藤重広(2022)「日本語の参照文法書をめぐってーなぜ日本語の参照文法は書かれないかー」『アジア・アフリカ言語文化研究 別冊』no.2 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 4606)加藤伸彦(2022)「日本語教育における近年の教室の記述的研究の現況と展望ー『日本語教育』『世界の日本語教育』『言語文化教育研究』の3誌の分析よりー」『東海大学大学院日本語教育学論集』第1巻第9号 東海大学大学院文学研究科日本文学科日本語教育学コース
- 4607)門脇誠一(2022)「言語接触から見た日本語・朝鮮語ー主として併合時代以後を中心にー」『韓国語学年報』第18号 神田外語大学韓国語学会

- 4608)金澤裕之(2022)「今後の日本語学・日本語教育学における一つの方向」『横浜国大  
語研究』第 40 号 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 4609)上出大河(2022)「台湾系日本語学習者の音声上の諸特徴に関する通時的対照ー日本  
語教育史的観点からー」『国学院大学大学院紀要. 文学研究科』54 巻 国学院大学大  
学院
- 4610)上別府隆雄、牧田幸文、宮野宏子、客本牧子、船岡孝志、加藤伸一(2022)「福山市  
立大学びんご多文化共生連続ワークショップの軌跡と将来への展望」『都市経営：福  
山市立大学都市経営学部紀要』No.14 福山市立大学都市経営学部
- 4611)ガリーナ・ヴォロビヨワ(2022)「キルギス共和国における日本語教育ー歴史、現  
状、課題ー」『日本語学』第 41 巻第 4 号 明治書院
- 4612)カロリーナ・カパツ(2022)「宣教師シドティの日本語学習と日本語力」『Ignis』  
Vol.2 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 4613)河合淳子、湯川志貴子(2022)「パンデミックの中の留学生日本語教育ー一年半の体  
験を振り返り、今後を考えるー」『ことばと社会』編集委員会編『ことばと社会』24 号  
三元社
- 4614)川上尚恵(2022)「日本語教育実施機関における日本語教師の育成の取り組みー  
1960・70 年代の AOTS での取り組みからー」『神戸大学留学生教育研究』第 6 号  
神戸大学国際教育総合センター留学生教育部門
- 4615)川口敦子(2022)「キリシタン資料におけるカ行子音の K 表記ーパルメイロ書簡を手  
がかりにー」京都大学文学部国語学国文学研究室編(1991)『国語国文』91 巻 12 号  
中央図書出版社
- 4616)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(1)ポルトガル国立図書館」『日本古書通  
信』87 巻 4 号 日本古書通信社
- 4617)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(2)ポルトガル国立図書館(2)」『日本古書  
通信』87 巻 5 号 日本古書通信社
- 4618)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(3)アジュダ国立図書館(リスボン)」『日本  
古書通信』87 巻 6 号 日本古書通信社
- 4619)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(4)アジュダ国立図書館(リスボン)(2)」『日  
本古書通信』87 巻 7 号 日本古書通信社

- 4620)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(5)エヴォラ公共図書館(ポルトガル)」『日本古書通信』87 巻 8 号 日本古書通信社
- 4621)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(6)エヴォラ公共図書館(ポルトガル)(2)」『日本古書通信』87 巻 9 号 日本古書通信社
- 4622)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(7)ドン・マヌエル二世図書館(ポルトガル)」『日本古書通信』87 巻 10 号 日本古書通信社
- 4623)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(8)ドン・マヌエル二世図書館(ポルトガル)(2)」『日本古書通信』87 巻 11 号 日本古書通信社
- 4624)川口敦子(2022)「キリシタン資料を訪ねて(9)国立文書館・科学アカデミー図書館(ポルトガル)」『日本古書通信』87 巻 12 号 日本古書通信社
- 4625)川口敦子(2022)「スペイン王立歴史アカデミー図書館所蔵 Cortes 9-2666 文書の日本語文」『三重大学日本語学文学』第 33 号 三重大学日本語日本文学研究室
- 4626)河路由佳(2022)「土岐善麿が日本語文学のローマ字書きに託したものー土岐善麿(1921)『Roomazigaki Tanpen-Syoosetusyuu (ローマ字短篇小説集)』ー」『杏林大学外国語学部紀要』第 34 号 杏林大学外国語学部
- 4627)河野俊之(2022)「戦後の日本語教育の展開とこれからー横国の日本語教育専門領域の展開と絡めてー」『横浜国大言語研究』第 40 号 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 4628)河原典史(2022)「バンクーバーにおける日本人移民社会とスペイン風邪ー日本語新聞『大陸日報』からの分析ー」『立命館言語文化研究』34 巻 1 号 立命館大学国際言語文化研究所
- 4629)神田千里(2022)「イエズス会日本布教における日本人修道士の役割」『東洋大学人間科学総合研究所紀要』24 号 東洋大学人間科学総合研究所
- 4630)勘米良祐太(2022)「大正期植民地朝鮮における文法教育が国民統合に果たした役割ー高等普通学校用教科書『日本口語法及文法教科書』に着目してー」『月刊国語教育研究』597 号 日本国語教育学会
- 4631)岸本恵美(2022)「明治初期パリ外国宣教会の語学書・エヴラール『日本語教程』(1874) 研究序説」『語文』第 119 輯 大阪大学国語国文学会

- 4632)木下昭(2022)「占領下日本語教育はフィリピンでいかに記憶されたかー普通教育をめぐる日米帝国間関係ー」『日本研究』第 65 集 国際日本文化研究センター
- 4633)キム・ダソム(2022)「「第二言語としての日本語教育」政策の原点としての中国帰国者に対する日本語教育ー文化庁による日本語の教材としての『生活日本語』シリーズに着目してー」『言語政策』18 日本言語政策学会
- 4634)Guillaume Carré(ギヨーム・カレ)(2022)「LEON DE ROSNY (1837-1914) : Un pionnier des études japonaises en France première partie (レオン・ド・ロニー (1837-1914)ーフランスにおける日本研究のパイオニア(前編)ー)」『REKIHAKU』007 国立歴史民俗博物館〔仏文・日本語訳併載〕
- 4635)郭夢垚(2022)「第 I 部ーIVー第二章 日華学堂と清国留学生の翻訳活動」欒殿武、柴田幹夫編著(2022)『日華学堂とその時代ー中国人留学生研究の新しい地平ー』武蔵野大学出版会
- 4636)熊谷圭知(2022)「パラオは日本を愛した植民地か？」『人文地理学会大会 研究発表要旨 2022』人文地理学会
- 4637)栗木里栄(2022)「地域における多言語相談窓口の現状と課題ー「多文化共生」の地域づくりにむけてー」『金城学院大学論集. 社会科学編』第 19 巻第 1 号 金城学院大学
- 4638)栗田佳泰(2022)「外国人あるいは外国出身者の子どもの「教育を受ける権利」に関する序論的考察ー日本語教育を受ける権利と母語教育を受ける権利の憲法的保障についてー」『法政理論』第 54 巻第 3・4 号 新潟大学法学会
- 4639)黒川麻美・池田匡史(2022)「満洲・朝鮮における「国語」教科書に採録された民話教材の性格ーモチーフと要素を手がかりにー」『大阪樟蔭女子大学研究紀要』第 12 巻 大阪樟蔭女子大学
- 4640)黒川茉莉(2022)「用例翻訳の疎密に見るキリシタン日本語文典の性格」日本近代語研究会編(2022)『論究日本近代語<第 2 集>』 勉誠出版
- 4641)國分建志(2022)「誤植の殿堂『説日語』ーその誕生と変遷(十一)ー」『文學藝術』68 共立女子大学文芸学部
- 4642)小柴裕子(2022)「日本語教育に於ける複合リテラシーとは」『国際言語文化学会日本学研究』第 7 号 京都外国語大学国際言語文化学会



- 4643)小島和枝(2022)「離日後のアストン 1888 年～1892 年」『東日本英学史研究:日本英学史学会東日本支部紀要』第 21 号 日本英学史学会東日本支部事務局
- 4644)小波津ホセ(2022)「第 2 次世界大戦後のペルーの日本語教育ーペルー日本語教師会誌『アンデス』を事例にー」『JICA 横浜海外移住資料館研究紀要』17 国際協力機構横浜国際センター海外移住資料館
- 4645)小西広明(2022)「2019 年前後の日本語教育について」『海外日本語教育研究』第 15 号 海外日本語教育学会学会誌編集部
- 4646)近藤弘(2022)「コロンビア日本人移住地における日本語教育の意義ー光園創設者ハナさんのライフストーリー分析を通してー」『言語文化教育研究』第 20 巻 言語文化教育研究学会
- 4647)齋藤智哉(2022)「明治時代における芦田恵之助の「修養」」『國學院大學教育学研究室紀要』第 56 号 國學院大學
- 4648)齋藤智哉(2022)「戦後の芦田恵之助の教育思想に関する覚書ー「修養の道連」「子弟共流」から「共に育ちましょう」へー」『國學院大學教育学研究室紀要』第 57 号 國學院大學
- 4649)齊藤良子、齊藤明美(2022)「韓国人日本語学習者のもつ日本・日本人・日本語に対するイメージとその形成要因ー2003 年と 2017 年の経年調査の結果を中心にー」『國士舘大學教養論集』第 85 号 国士舘大学教養学会
- 4650)酒井順一郎(2022)「建国当時における「満洲国」の日本語普及を巡る論争ー保科孝一と富山民蔵ー」『新世紀人文学論究』第 6 号 新世紀人文学研究会
- 4651)酒井順一郎(2022)「第 2 章 「満洲国」言語政策と国民像ー「満洲国」政府語学検定試験の影響ー」劉建輝編著(2022)『「満洲」という遺産ーその経験と教訓ー』ミネルヴァ書房
- 4652)坂本勝信、谷誠司、山下浩一、内山夕輝、染葉麻愛美(2022)「浜松国際交流協会との連携による地域日本語教育の試みー令和 2 年度常葉大学地域交流連携推進事業ー」『常葉大学外国語学部紀要』第 38 号 常葉大学外国語学部
- 4653)櫻庭律子(2022)「白鷗大学における日本語・日本事情クラスー大学部開校 35 年間の留学生数の推移と在籍区分の報告ー」『白鷗ビジネスレビュー』第 32 巻第 1 号 白鷗大学ビジネス開発研究所

- 4654) 笹川史絵、中谷真也、藤平愛美(2022)「ハイブリッド教室における授業支援の変遷ー大阪大学日本語日本文化教育センター開講科目を事例としてー」『大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究』第 20 号 大阪大学日本語日本文化教育センター
- 4655) 真田信治(2022)「宜蘭クレオールの「自然環境語彙」について」中部日本・日本語学研究会編(2022)『研究叢書 542 中部日本・日本語学研究論集』和泉書院
- 4656) 佐野晃(2022)「旧ソ連製の日本語教科書 Учебник японского языка に関するテキストマイニングを用いた定量分析」『言語学論叢 オンライン版』第 15 号(通号 41 号) 筑波大学一般・応用言語学研究室
- 4657) 澤宗則、南埜猛(2022)「ネパール人留学生に関するトランスナショナルな関係ーネパールの日本語学校の立地と戦略に注目してー」『移民研究』第 18 号 沖縄移民研究センター
- 4658) 志賀里美(2022)「恵泉女学園大学における私費留学生の日本語力の推移と課題ー『J-CAT』の結果よりー」『恵泉女学園大学紀要』第 33 号 恵泉女学園大学
- 4659) 鹿浦佳子(2022)「海外協定大学に TA を派遣する「日本語インターン留学」プログラムーその歩みと検証ー」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』32 号 関西外国語大学留学生別科
- 4660) 志喜屋カロリーナ(2022)「外国人散在地域における日本語教育及び国際交流事業の取り組みと今後の展開ー青森県三戸郡南部町の事例ー」『研究年報』第 18 号 青森中央学院大学地域マネジメント研究所
- 4661) 柴公也(2022)「日本統治時代を生きた台湾人への面接調査報告」歴史認識問題研究会編(2022)『歴史問題認識研究』第 10 号 公益財団法人モラロジー道德教育財団西岡力研究室
- 4662) 柴公也(2022)「日本統治時代を生きた台湾人への面接調査報告(2)」歴史認識問題研究会編(2022)『歴史問題認識研究』第 11 号 公益財団法人モラロジー道德教育財団西岡力研究室
- 4663) 芝崎理恵(2022)「山陽地区での日本語教室立ち上げについて」『山陽小野田市立山口東京理科大学紀要』第 5 号 山陽小野田市立山口東京理科大学
- 4664) 嶋津拓(2022)「コロナ禍における日本語教育ー埼玉大学の場合ー」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第 16 号 埼玉大学日本語教育センター

- 4665)下岡絵里奈(2022)「19 世紀中葉の琉球におけるフランス人宣教師と語学学習」『島嶼地域科学』第 3 号 琉球大学島嶼地域科学研究所
- 4666)ジョーンズ佳子(2022)「ロンドン大学 SOAS の日本語教育について」『新世紀人文学論究』第 6 号 新世紀人文学研究会
- 4667)洲脇一郎(2022)「国民学校令下の神戸市立夜学校」『神戸親和女子大学研究論叢』第 55 号 神戸親和女子大学
- 4668)相馬伸一(2022)「コメニウスと日本人の出会いーゴンザ以前のエピソードをさかのぼるー」『佛教大学教育学部学会紀要』第 22 号 佛教大学教育学部学会
- 4669)副島健作、菅谷奈津恵(2022)「コロナ禍における東北大学の日本語教育ー学習者中心の遠隔授業に向けてー」『東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要』第 8 号 東北大学高度教養教育・学生支援機構
- 4670)孫世偉(2022)「昭和十二年以降初等教育における「国語」教科書の比較研究ー内地と植民地台湾を中心にー」『青山学院大学文学部紀要』第 63 号 青山学院大学文学部
- 4671)高井美穂、藤浦五月、田中真衣、今田恵美、吉兼奈津子(2022)「雑談による関係構築のための日本語教材ができるまでー体系的な雑談指導の方法論構築を目指してー」『日本語・日本文化研究』第 32 号 大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学コース
- 4672)高木まさき(2022)「横浜国立大学における国語科の変遷について」『横浜国大国語研究』第 40 号 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 4673)高瀬航平(2022)「『古事記』の「神話」化ー一八八三年バジル・ホール・チェンバレンによる『古事記』英訳の序論の内容と受容ー」『宗教学論集』第 41 輯 駒沢宗教学研究會
- 4674)高田幸男(2022)「近代における中国人の日本留学ー1935,36 年の日本留学ブームを中心にー」歴史学研究会編(2022)『歴史学研究』No.1018 續文堂出版
- 4675)高橋亘、瀬瀬憲子(2022)「国内外における日本語多読研究の広がりと動向」『神田外語大学紀要』第 34 号 神田外語大学
- 4676)武井成美(2022)「松本市立博物館収蔵資料紹介ー河原操子関連資料ー」『民具マンスリー』55 巻 4 号 神奈川大学日本常民文化研究所

- 4677)竹口智之、アレクサンドラ・マフワコワ(2022)「1960年代～90年代におけるロシア極東地域での日本語教育」『大阪観光大学研究論集』第22号 大阪観光大学研究論集編集委員会
- 4678)武田素子、ゴー・ティ・キェウ・ガー、五十嵐裕佳(2022)「ベトナムの初等日本語教育におけるポートフォリオ活用の試みー試行段階から普及段階への移行期にかかる課題解決に向けてー」『国際交流基金日本語教育紀要』第18号 国際交流基金
- 4679)竹本英代(2022)「京都日本語学校の設立経緯」『福岡教育大学紀要』第71号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 4680)田中寛(2022)「1970年代のタイにおける日本語教育ー泰日経済技術振興協会の語学事業を中心に(1)ー」『タイ国情報』第56巻第2号 公益財団法人日本タイ協会
- 4681)田中寛(2022)「1970年代のタイにおける日本語教育ー泰日経済技術振興協会の語学事業を中心に(2)ー」『タイ国情報』第56巻第3号 公益財団法人日本タイ協会
- 4682)田中寛(2022)「1980～1990年代のタイにおける日本語・タイ語教育事情ー泰日経済技術振興協会の語学事業を中心に(3)ー」『タイ国情報』第56巻第4号 公益財団法人日本タイ協会
- 4683)田中祐輔(2022)「デジタル歴史学と日本語教育オーラルヒストリー映像アーカイブー『日本語教育100年史』事業を中心にー」『日本語教育史研究』Vol.1 日本語教育史研究会
- 4684)田場裕規(2022)「憂鬱なることばの教育ー『琉球板本六論衍義大意』をめぐってー」『沖縄国際』大学日本語日本文学研究』第26巻第2号 沖縄国際大学日本語日本文学会
- 4685)鄭亨奎(2022)「中国改革開放期における日本語教育と日本の支援事業」『東アジア日本学研究』第7号 東アジア日本学研究学会
- 4686)千葉軒士(2022)「「バレット写本」におけるアクセント符号についてー長音に対応するアセント符号の諸相ー」中部日本・日本語学研究会編(2022)『研究叢書542 中部日本・日本語学研究論集』和泉書院
- 4687)張潔(2022)「北京警務学堂派遣の旗人留学生」『比較日本文化学研究』15 広島大学大学院人間社会科学研究科人文学プログラム総合人間学分野
- 4688)周一川(2022)「帝国大学における中国人女子留学生(1924-1944年)ーデータ解説と事例分析ー」『人文学研究所報』68巻 神奈川大学人文学研究所

- 4689)陳虹彪(2022)「学籍簿から見る日本統治下台湾の子どもたちー高雄州龍肚国民学校の 20 期生を事例にー」『平安女学院大学研究年報』第 22 号 平安女学院大学
- 4690)金桂英、トンプソン美恵子(2022)「「日本語サポートデスク」の取り組みー3 年間の活動状況とその成果ー」『国際共修・語学教育実践』創刊号 山梨学院大学グローバルラーニングセンター編集委員会
- 4691)金斑実(2022)「満洲に設立された鉄嶺日語学堂について」『東アジア日本学研究』第 7 号 東アジア日本学研究学会
- 4692)曾志靈(2022)「民国時代の汕頭における日本語教育に関する歴史的的研究」『日本言語文化研究』7 巻 アジア日本言語文化研究会
- 4693)坪田珠里(2022)「グエン・ドゥック・ホエ先生の日本語教育に関わる反省と教育への思い」『Ignis』Vol.2 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 4694)都恩珍(2022)「地域の『ボランティア日本語教師養成講座』報告」『桜花学園大学学芸学部研究紀要』第 16 号 桜花学園大学
- 4695)常盤智子(2022)「<鈴木英夫先生追悼>鈴木英夫先生のこと」『国文白百合』53 号 白百合女子大学国語国文学会
- 4696)栃木亜寿香(2022)「<鈴木英夫先生追悼>鈴木英夫先生と日本語教育」『国文白百合』53 号 白百合女子大学国語国文学会
- 4697)トムソン木下千尋(2022)「第 2 章 ケイショウゴ教育の変遷についてーオーストラリアとブラジルを例にー」松田真希子、中井精一、坂本光代編(2022)『「日系」をめぐることばと文化』くろしお出版
- 4698)トムソン木下千尋(2022)「分別から融合へーオーストラリアの日本語を考えるー」『比較日本学教育研究部門研究年報』第 18 号 お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所
- 4699)伴野崇生(2022)「「難民日本語教育」実践者の自己形成と成長ーオートエスノグラフィーと Auto-TEM を通じてー」『社会情報研究』第 3 巻 2 号 学校法人先端教育機構
- 4700)友宗朋美(2022)「「地域日本語教育」における対話活動ー理論・理念および活動目的・内容の相違点に着目してー」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』32 号 関西外国語大学留学生別科

- 4701)中川康弘(2022)「日本語教育におけるパウロ・フレイレ教育論の趨勢」『人文研紀要』第 102 号 中央大学人文科学研究所
- 4702)中東靖恵(2022)「在住外国人に対する日本語教育の現状と課題」『自治体国際化フォーラム』395 号 自治体国際化協会
- 4703)中村重穂(2022)「宣撫班編『日本語會話讀本』成立過程の再検討—新資料の校合に基づいて—」『日本語教育史研究』Vol.1 日本語教育史研究会
- 4704)中村祐理子、榎陽子、森裕美子、丸山真貴子、石井満生(2022)「指導対象者別遠隔日本語授業における課題と取組」『目白大学高等教育研究』第 28 号 目白大学高等教育研究所
- 4705)中山弘明(2022)「片岡良一と「国際文化振興会」—戦時下の「明治文学会」—」『徳島文理大学比較文化研究所年報』第 38 号 徳島文理大学比較文化研究所
- 4706)滑川恵理子(2022)「文化審議会の指針に基づく日本語教師課程の成果と課題—履修生を対象とするアンケート調査から—」『京都女子大学人文論叢』第 70 号 京都女子大学人文学会
- 4707)西沢雅代(2022)「横浜ピジンと起点言語の語順は似ているか—接触言語文法の数量的分析の試み—」『日本語研究』第 42 号 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- 4708)西野藍、八田直美、坪根由香里(2022)「タイの大学日本語教員養成課程卒業生の追跡調査から見るキャリア選択の実態—中等日本語教員を職業として選ぶ理由—」『国際交流基金日本語教育紀要』第 18 号 国際交流基金日本語国際センター
- 4709)野中モニカ(2022)「(翻刻)戦前ブラジルにおける日本語会報誌『曙』1940 年 12 月号第 10 巻第 6 号」『天理大学学報』第 264 輯 天理大学学術研究会
- 4710)野村淳一(2022)「韓国統監府期の私立学校用教科書『初等小学』の特性」『人文公共学研究論集』第 44 号 千葉大学大学院人文公共学府
- 4711)橋本直幸(2022)「『日本語教科書読み物データベース』の作成と公開」『福岡女子大学文学部紀要：文藝と思想』第 86 号 福岡女子大学文学部
- 4712)『一橋日本語教育研究』編集委員会(2022)「『一橋日本語教育研究』10 号記念企画—創刊号から 9 号までを振り返る—」『一橋日本語教育研究』10 号 ココ出版

- 4713) 檜山純子(2022)「マレーシア、バトパハからの報告―壁に刻まれた日本語―」『新世紀人文学論究』第6号 新世紀人文学研究会
- 4714) 平高史也(2022)「山口喜一郎『日本語話方入門』をめぐって」『日本語教育史研究』Vol.1 日本語教育史研究会
- 4715) 平畑奈美(2022)「『アジア周縁地域』の視座からとらえる日本語・日本文化教育」『国際文化コミュニケーション研究』第5号 東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科
- 4716) 宦文偉(2022)「故郷南京に日本語学校を設立して」『日本語と日本語教育』第50号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 4717) 黄冬柏、于衛紅、沙秀程、包賀喜格図、孫桂玲(2022)「ウィズコロナ時代における国際交流に関する一考察―内蒙古大学外国語学院の取り組みを中心に―」『九州共立大学研究紀要』第12巻第2号 九州共立大学
- 4718) 藤長かおる、伊藤由希子、湯本かほり、岩本雅子、羽吹幸、磯村一弘(2022)「生活場面での課題遂行を目標とした著作権フリー教材『いろどり 生活の日本語』の開発」『国際交流基金日本語教育紀要』第18号 国際交流基金
- 4719) 藤原直樹(2022)「自治体による日本語学校運営・立地支援施策の展開―地方における人口減対策としての外国人誘致―」『地方自治研究』第37巻第2号 日本地方自治研究学会
- 4720) 藤原雅憲(2022)「Arimasa MORI : Leçon de Japonais 日本語教科書の検討―正しい解釈のために―」『金城学院大学論集. 人文科学編』18巻2号 金城学院大学
- 4721) フランツィスカ・シュテッフェン(2022)「ドイツのヤポニクムにおける日本語集中講座の紹介―オンライン授業への変更の経験を通じて―」『日本語と日本語教育』第50号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 4722) 古別府ひづる(2022)「山口県立大学国際文化学部日本語教員養成課程四半世紀の歩み」『山口県立大学学術情報』15巻 山口県立大学
- 4723) 古本裕美、奥田阿子、宮脇恵美、徳重秋利(2022)「自律的な外国語学習者を育成するための課外活動の在り方―2019年度から2021年度までの English Café と Japanese Table を事例に―」『長崎大学留学生教育・支援センター紀要』第4号 長崎大学留学生教育・支援センター

- 4724)裴始美(2022)「植民地期における朝鮮人の日本留学と植民地主義ー「韓国併合」から 1920 年代半ばまでを中心にー」歴史学研究会編(2022)『歴史学研究』No.1018 績文堂出版
- 4725)幕田順子(2022)「国際交流協会における国際交流事業の意義と課題ーアンケート調査及びインタビュー調査よりー」『商学論集』第 90 巻第 2-4 号 福島大学経済学会
- 4726)町田恵子(2022)「オンライン日本語教材の開発と今後の可能性ー町田恵子先生インタビューー」『アジアの友』第 550 号 アジア学生文化協会
- 4727)マルコ・ルッデ(2022)「伊沢修二と坪内逍遙の文化改良論と社会進化説ー明治中期の日本ナショナリズムについての一考察ー」『人間社会環境研究』第 43 号 金沢大学大学院人間社会環境研究科
- 4728)三谷彩華(2022)「アカデミック・ライティング教育に関する日本語教育学研究の課題と展ー日本語の研究論文を対象とした研究の概観ー」『江戸川大学紀要』第 32 号 江戸川大学
- 4729)宮崎七湖、ハワード・ブラウン、久住智子(2022)「外国人大学教員に対する日本語研修ーニーズ調査と授業実践の報告ー」『JISRD : journal of international studies and regional development』第 13 号 国際地域研究学会
- 4730)宮里厚子(2022)「1855 年におけるフランス人宣教師の琉球王国への来航と滞在に関する研究」『島嶼地域科学』第 3 号 琉球大学島嶼地域科学研究所
- 4731)宮原暁(2022)「マイノリティの日本語ー「母語」の暴力性を越えてー」『言語文化研究』第 48 巻 大阪大学大学院言語文化研究科
- 4732)三代純平(2022)「日本語教育実践を志向するライフストーリーー日本語教育におけるライフストーリー研究の展開と展望ー」『語りの地平：ライフストーリー研究』Vol.7 日本ライフストーリー研究所
- 4733)村井万里子(2022)「言語教育基礎論としての「対話環」理論の研究」『鳴門教育大学研究紀要』第 37 巻 鳴門教育大学
- 4734)村井万里子(2022)「国語科学習の基礎的探求ー「学び」と「学習」ー「対話環」原理に基づく「発達」評価の重要性ー」『鳴門教育大学授業実践研究ー授業改善をめざしてー』第 21 号 鳴門教育大学



- 4735)望月雅美(2022)「初級日本語教科書における有対自他動詞の提示方法とその変遷ー国内使用教科書の実態調査よりー」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第16号 埼玉大学日本語教育センター
- 4736)森山卓郎(2022)「宮地裕先生の学問とお人柄」『日本語学』第41巻第2号 明治書院
- 4737)山口雅代(2022)「『台湾日日新報』にみるタイと台湾の日本語普及に関する交流ー国立台湾図書館での検索からー」『東京福祉大学・大学院紀要』第12巻第1号第2号 合併号 東京福祉大学・大学院学会誌等編集委員会
- 4738)山下佳那子、唐姣姣、姜芳雨(2022)「外国につながる子どもを対象にした、日本語及び母語・継承語を育むワークショップの形成過程」『子どもの日本語教育研究』第5号 子どもの日本語教育研究会
- 4739)楊素霞(2022)「植民地台湾における「明治維新」認識」『社会システム研究』第44号 立命館大学社会システム研究所
- 4740)ユリア・ミハイロバ、マトウェイ・ミハイロフ(2022)「人間の運命ー日本語の翻訳者と教師としての G. G. ペルミャコフ(1917-2005)ー」『Север』38号 ハルビン・ウラジオストクを語る会
- 4741)横田隆志(2022)「日本人の多様性から多文化共生について考える日本語サポーター養成講座ーボランティア養成講座参加者のインタビューの分析からー」『北陸大学紀要』第53号 北陸大学
- 4742)横山りえこ(2022)「日本語教育における教育のユニバーサルデザインの提案」『基礎教育保障学研究』第6号 基礎教育保障学会
- 4743)吉川絢子、川越桂華、熊谷圭知(2022)「パラオから見た日本、日本から見たパラオー日本統治時代を生きたパラオ女性と移住日本人女性の語りからー」『お茶の水地理』第61号 お茶の水地理学会
- 4744)吉田朋彦(2022)「W.G.アストンの『日本口語小文典』における名詞と代名詞の説の発展ー初版と第2版の比較からー」『城西国際大学紀要』第30巻第2号 城西国際大学
- 4745)義永美央子、難波康治、瀬井陽子、角南北斗、韓喜善(2022)「リアルとバーチャルを結んだ日本語学習支援の取り組みー3年間の総括ー」『多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集』第26号 大阪大学国際教育交流センター

- 4746)雍婧(2022)「ノンネイティブ日本語教師認知研究の概観ーオンライン学術文献データベースを用いてー」『一橋大学国際教育交流センター紀要』第4号 一橋大学国際教育交流センター
- 4747)頼美麗、岡本輝彦(2022)「台湾の科技大学應用日文系における日本語教育の現状と課題に関する一考察」『別府大学日本語教育研究』第12号 別府大学日本語教育研究センター
- 4748)林敏潔(2022)「日中戦争前夜における松本亀次郎の中国認識ー『中華五十日游記』を通してー」『世界文学』131号 世界文学会
- 4749)林欏嫻(2022)「台湾の日本統治期における日本仏教団の「台湾仏教会」について」『印度學佛教學研究』第70巻第2号 日本印度学仏教学会
- 4750)Rudy TOET、前田桂子、原田走一郎(2022)「『ドゥーフ・ハルマ』の初稿および『和蘭字彙』のF項目の対照翻刻」『多文化社会研究』第8号 長崎大学多文化社会学部・多文化社会学研究科
- 4751)ルディ・トート(2022)「ドンケル・クルチウスの日本語文典の成立を巡って」『日本語の研究』第18巻2号 日本語学会
- 4752)ルディ・トート(2022)「長崎大学附属図書館所蔵のクルチウス編纂ホフマン増訂『日本文法試論』について」『多文化社会研究』第8号 長崎大学多文化社会学部・多文化社会学研究科
- 4753)王伸子(2022)「中世キリシタン文献とイエズス会の言語教育ーローマ字本の位置付けについての一考察ー」『専修国文』第110号 専修大学日本語日本文学文化学会
- 4754)王凌志(2022)「中国の大学における日本語教育の変化とその対応ー大学入試で日本語を選択する受験生を対象としてー」『日本語教育方法研究会誌』29巻1号 日本語教育方法研究会
- 4755)艾慕晨(2023)「浅析山口直接教学法」『新世纪人文学論究』第7号 新世纪人文学研究会〔中文〕
- 4756)會田篤敬(2023)「1930年代のエジプトにおける日本語教育ー本邦国語関係雑件 第一巻 18「エジプトニ於ケル日本語関係」を基にー」『山梨大学教育学部紀要』第33号 山梨大学教育学部
- 4757)秋葉多佳子(2023)「日本語教員養成課程の施行までの道のりと今後の課題」『文彩』第19号 熊本県立大学文学部

- 4758)浅田岐依、小口悠紀子(2023)「地域日本語教育における対話交流型クラスの可能性ー外国人市民と日本人市民をつなぐ試みを通してー」『広島大学日本語教育研究』第33号 広島大学大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム
- 4759)朝山洋樹(2023)「日本語教育と日本語学校のこれまでー法務省に告示された日本語学校に注目してー」『立命館産業社会論集』第59巻第1号 立命館大学産業社会学会
- 4760)東弘子、米勢治子(2023)「外国人を支援しようとする人々が持つ学びに対する価値観ー「やさしい日本語講座」を事例としてー」『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』第24号 愛知県立大学大学院国際文化研究科
- 4761)安達祥子、笠井陽介、熊野七絵(2023)「「いそどり日本語オンラインコース」開発と運用」『国際交流基金日本語教育紀要』第19号 国際交流基金
- 4762)荒井美帆(2023)「中堅日本語教師のキャリア変遷の一例」『国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域実習報告論文集』14 公立大学法人 国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域
- 4763)有田佳代子(2023)「1940年代ベトナムの日本プロパガンダ誌『Tân Á』の日本語講座ー創刊号から第12号連載「実践日本語(Tiếng Nippon thực hành)ー」を中心に」新潟大学大学院現代社会文化研究科監修(2023)『日本語・日本文化研究ー日本語・日本文化研究国際討論会論文集ー:collected papers of the International Meeting of Studies in Japanese language and culture』新潟大学グローバル研究センター
- 4764)飯塚友佳子(2023)「中南米日系人が日本の中核人材になるための課題」『佛教大学大学院紀要 社会学研究科篇』第51号 佛教大学大学院
- 4765)池田匡史(2023)「満洲の現地人向け中国語教科書における「メロスの伝説」」『岡山大学国語研究』37 岡山大学教育学部国語研究会
- 4766)池田庸子(2023)「多読授業を実践する日本語教師の意識の変容ー日本で教える教師の語りー」『茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究』第6号 茨城大学全学教育機構
- 4767)石澤徹(2023)「日本語教育実習科目の構築と今後の展望」『東京外国語大学国際日本学研究』第3号 東京外国語大学大学院国際日本学研究院

- 4768)泉史生(2023)「近代日本語教育論－授業面から見る明治と平成・令和の日本語教育改革－」『言語と交流』第 26 号 言語と交流研究会
- 4769)井戸桂子(2023)「日光高山植物の魅力－アーネスト・サトウから、五百城文哉、牧野富太郎を経て、武田久吉まで－」『青淵』第 897 号 渋沢栄一記念財団
- 4770)伊藤孝行(2023)「テキストアナリシスによる『近代日本語教科書語彙索引』収載のタイ人向け日本語教科書のことば」『新世紀人文学論究』第 7 号 新世紀人文学研究会
- 4771)伊藤孝行(2023)「テキストアナリシスによる東亜高等予備学校『日本語のはじめ』の検証」『言語文化研究』22 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 4772)伊藤千晴(2023)「フランシス・ブリンクリーとアーネスト・サトウ 明治後期日本を生きた 2 人の外国人」『津田塾大学言語文化研究所報』第 38 号 津田塾大学言語文化研究所
- 4773)伊藤茉莉奈(2023)「音声に対するアプローチの分類とその課題－『日本語教育』『早稲田日本語教育学』『音声研究』の分析から－」『早稲田日本語教育実践研究』第 11 号 早稲田大学日本語教育研究センター
- 4774)井上里鶴(2023)「第 5 部第 2 章 日本語教育史」ヒューマンアカデミー(2023)『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド 第 5 版』翔泳社
- 4775)今村圭介、岩村きらら、若森大悟、宮崎捷世、濱野良安、範静、沈璐(2023)「ミクロネシア地域における日本語起源借用語の社会言語学的比較研究」『社会言語科学』第 25 巻第 2 号 社会言語科学会
- 4776)今村志紀(2023)「国学者とジャパノロジストの交流－堀秀成とアストン、サトウ－」『上智大学文化交渉学研究』11 号 上智大学大学院文学研究科文化交渉学専攻
- 4777)呉艶(2023)「中国天津の日本租界における日本語教育の再考察－日出学館(共立学校)を例に－」南開大学外国語学院東アジア古代学研究センター「東アジア文化研究」編集委員会編(2023)『東アジア文化研究』8 國學院大學大学院文学研究科
- 4778)魏吉非(2023)「日中戦争期華北占領地の学校における日本語学習奨励事業－『小学児童日本語作文集第一輯』を手掛かりに－」『人間文化創成科学論叢』第 25 巻 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科

- 4779)植田晃次(2023)「日本近代朝鮮語教育史の視点から見た島井浩と朝鮮語―対馬から釜山の日本人社会に渡り一生を送った人―」『言語文化研究』第49巻 大阪大学大学院人文学研究科言語文化学専攻・外国学専攻・日本学専攻応用日本語コース
- 4780)上田崇仁(2023)「植民地朝鮮における学校外の「国語」教育―『国語教本』『一日一語国語普及読本』『国語の本』の三種に焦点を当てて―」『南山大学日本文化学科集』第23号 南山大学日本文化学科
- 4781)上山那々(2023)「小学校における日本語指導の取り組み―子ども同士の関わりの視点から―」『佛教大学教育学部学会紀要』第23号 佛教大学教育学部学会
- 4782)宇賀神一(2023)「「国民学校・国語学習指導系統表」にみる石森延男の国語教育思想―『学習指導要領 国語科編（試案）』（1947年度版）成立前史―」『国語科教育』第94集 全国大学国語教育学会
- 4783)牛窪隆太、福村真紀子(2023)「日本語教育において「社会」はどこに位置づけられてきたか―学会誌『日本語教育』掲載論考の調査報告―」『国際教育センター紀要』創刊号 東洋大学国際教育センター紀要編集委員会
- 4784)臼井智美(2023)「「外国にルーツのある子どもの教育」に関する教職大学院での授業開発および成果検証―学習内容の「高度化」と「体系化」の観点から―」『大阪教育大学紀要 総合教育科学』第71巻 大阪教育大学
- 4785)江口玲(2023)「夜間中学はどこからきて、どこへ向かうのか―兵庫県を中心に―」『ひょうご部落解放』185号 一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所
- 4786)江夏亜希子(2023)「日本語教師の専門性研究の新たな方向性―英語教育学を対象とした文献調査から―」『人間・環境学』第32巻 京都大学大学院人間・環境学研究科
- 4787)遠藤佳那子(2023)「W.G.アストン『日本文語文典』初版 訳註稿(3)」『鶴見大学紀要. 第1部, 日本語・日本文学編』60号 鶴見大学
- 4788)大島英之(2023)「キリシタン版『落葉集』の漢字音について」『日本語学論集』第19号 東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室
- 4789)太田裕子(2023)「オーストラリアの言語教育政策の変遷から見る「日本語教育推進法」の成果と課題」『国際教育』29 日本国際教育学会
- 4790)大塚奈奈絵(2023)「神話から英雄譚へ―ちりめん本「日本昔噺」シリーズにおけるチェンバレンとジェイムス夫人による『古事記』からの再話の比較―」『人文学研究所報』70巻 神奈川大学人文学研究所

- 4791)大東和重(2023)「帝国の片隅で一戦時下の台湾における国民動員と文学ー」『外国語・外国文化研究』XIX 関西学院大学法学部外国語研究室
- 4792)岡村嘉子(2023)「エミール・ギメのリヨン東洋語学校設立とその動機」『総合社会科学研究』4巻5号 総合社会科学会
- 4793)岡本拓、今井智絵、村上奈未、杉島夏子(2023)「「中等教育日本語の教え方A2（ベーシック）自習コース」の開発ーインドネシアにおける「JFにほんごeラーニングみなと」教師向けオリジナルコース開講に向けた取り組みー」『国際交流基金日本教育紀要』第19号 国際交流基金
- 4794)岡本輝彦(2023)「台湾の一般大學應用日語學系における日本語教育の現状と課題」『中国学園紀要』第22号 中国学園大学/中国短期大学
- 4795)小川誉子美(2023)「漢字の記憶法、16世紀にさかのぼるー在華宣教師マテオ・リッチの場合ー」(公財)日本のローマ字社(2023)『Rômazi no Nippon』dai 675 gô Nippon-no- Rômazi-Sya
- 4796)小川誉子美(2023)「妄想インタビュー 外山高一先生」『ウラリカ』第18号 日本ウラル学会
- 4797)小川誉子美(2023)「琉球ーパリ 日本語学習の息吹（4）ー日本学の始祖 レオン・ド・ロニーー」『ふらんす』2023年1月号 白水社
- 4798)小川誉子美(2023)「琉球ーパリ 日本語学習の息吹（5）ー医師ムリエの科学研究ー」『ふらんす』2023年2月号 白水社
- 4799)小川誉子美(2023)「琉球ーパリ 日本語学習の息吹（6）ーギメの東洋語学校とジャポニズムー」『ふらんす』2023年3月号 白水社
- 4800)小川誉子美(2023)「冷戦時代のソ連の日本語研究・日本語教育」『ことばと文字』16号 日本のローマ字社
- 4801)奥田浩司(2023)「「満州国」及び旧植民地における高齢日本語話者へのインタビュー（4）日本語・日本文化の記憶に関する報告」『国語国文学報』第81集 愛知教育大学語教育講座
- 4802)小篠敏明(2023)「Harold E. Palmer の英語教授法に関する研究ー日本における発展を中心としてー」『東日本英学史研究:日本英学史学会東日本支部紀要』第22号 日本英学史学会東日本支部事務局

- 4803)尾上貴行(2023)「天理教のオーストラリア伝道と戦後の日本人移民」『天理大学おやさと研究所年報』第 29 号 天理大学附属おやさと研究所
- 4804)小幡谷友二(2023)「ジュネーヴ大学における漢字教育－漢字データベースの作成とその活用－」『The Gakushuin Journal of International Studies (Special)』学習院女子大学
- 4805)恩塚千代(2023)「日本語学習者のための日日辞典コンセプトの提案」『大手前比較文化学会会報』第 24 号 大手前大学大学院比較文化研究科
- 4806)柿木重宜(2023)「言語学会の機関誌『言語学雑誌』の資料的価値について－日本における近代言語学史の観点から－」『関西外国語大学研究論集』第 118 号 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部
- 4807)梶井一暁、包雪峰(2023)「赴日モンゴル人留学生史研究序説－戦前期善隣高等商業学校蒙古留学生特設予科を中心に－」『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』184 号 岡山大学大学院教育学研究科
- 4808)梶原綾乃(2023)「留学生別科とは何か③－来日直後からの生活指導とその重要性－」『朝日大学留学生別科紀要』第 20 巻 朝日大学留学生別科
- 4809)加納寛(2023)「戦時期日本は大東亜共栄圏の女性たちに何を期待したか－対外グラフ誌『フジンアジア』の内容分析から－」『愛知大学国際問題研究所紀要』第 161 号 愛知大学国際問題研究所紀要
- 4810)カパツ・カロリーナ(2023)「日本での尋問にみるシドティの日本語力」『キリシタン文化研究会会報』第 161 号 キリシタン文化研究会
- 4811)上出大河(2023)「『全国小学児童綴方展覧会』の資料価値－日本語教育史研究及び近代日本語研究領域における活用に向けて－」『日本語教育史研究』Vol.2 日本語教育史研究会
- 4812)上村圭介(2023)「日本語教師の資格創設における更新講習導入の「迷走」－政策形成の検証－」『社会言語学』第 23 号 「社会言語学」刊行会
- 4813)川口敦子(2023)「『南詞雑解』のゲズ・イゲ小考」『三重大大学日本語学文学』第 34 号 三重大大学日本語日本文学研究室
- 4814)河先俊子(2023)「日本大衆文化開放後の韓国の高等学校の日本語教育－教育課程と教科書の分析から－」『21 世紀アジア学研究』21 号 国士舘大学 21 世紀アジア学会

- 4815)川田麻記、横溝亮(2023)「社会変容のための Service Learning の取組を目指してー横浜市内の公立小学校における外国につながる児童への支援体制づくりの実践と課題ー」『サービ斯拉ーニングの実践と研究』第 4 号 桜美林大学サービ斯拉ーニングセンター
- 4816)川橋葉子(2023)「シンガポール教育省語学センターにおける日本語教育ー国策としての言語教育を背景としてー」『日本語教育史研究』Vol.2 日本語教育史研究会
- 4817)関西学院大学日本語教育センター(2023)「関学らしい多文化共生とはー日本語教育の可能性ー(関西学院大学日本語教育センター10 周年記念シンポジウム)」『関西学院大学日本語教育センター紀要』第 12 号 関西学院大学日本語教育センター
- 4818)Guillaume Carré(ギョーム・カレ)(2023)「LEON DE ROSNY (1837-1914) : Un pionnier des études japonaises en France deuxième partie (レオン・ド・ロニー(1837-1914)ーフランスにおける日本研究のパイオニア(後編)ー)」『REKIHAKU』008 国立歴史民俗博物館〔仏文・日本語訳併載〕
- 4819)金庾昆(2023)「戦時期植民地朝鮮における海軍特別志願兵制度の実態ー朝鮮人海軍特別志願兵の教育と配属状況を中心にー」『日韓相互認識』第 12 号 「日韓相互認識」研究会
- 4820)工藤理恵(2023)「開発途上国における日本語教育支援政策の変遷ー1965 年か 2020 年の年次報告の分析からー」『フェリス女学院大学文学部紀要』第 58 号 フェリス女学院大学文学部紀要委員会
- 4821)栗田奈美、秋元美晴、志賀里美(2023)「地域と大学を結ぶ日本語学習支援者養成講座の試み」『恵泉女学園大学紀要』第 34 号 恵泉女学園大学
- 4822)黒田一雄(2023)「留学生受け入れ政策理念の展開」『IDE 現代の高等教育』654 号 IDE 大学協会
- 4823)上月康弘(2023)「芦田恵之助の「読み方教授」における学習者の自己内対話ー「教壇記録」を手がかりにー」『教育思想』第 50 号 東北教育哲学教育史学会
- 4824)上月康弘(2023)「芦田恵之助の「読み方教授」における「わざ」の構成原理」『全国大学国語教育学会国語科教育研究：大会研究発表要旨集』144 全国大学国語教育学会
- 4825)國分建志(2023)「誤植の殿堂『説日語』ーその誕生と変遷(十二)ー」『文學藝術』69 共立女子大学文芸学部



- 4826)木暮律子(2023)「学部留学生対象の日本語教育カリキュラムの改編」『地域政策研究』第 25 巻第 3 号 高崎経済大学地域政策学会
- 4827)小柴裕子(2023)「日本語学習者の社会的位置づけについてー日本語学習者は social agent かー」『宮崎大学教育学部紀要』第 101 号 宮崎大学教育学部
- 4828)小菅敦子(2023)「パーマの考えを広めるために尽力した先生方」『語研ジャーナル』第 22 号 語学教育研究所
- 4829)小林茂子(2023)「旧南洋群島における戦前の教育関係資料について(その 2)ー主に「学校要覧」類を中心にー」『教育学論集』第 65 集 中央大学教育学研究会
- 4830)龔佳奕(2023)「日本語会話における共感発話の研究動向」『千葉大学大学院人文公共学府プロジェクト報告書第 379 集：外国につながる人々の接触場面参加と相互行為接触場面の言語管理研究 vol.19』千葉大学大学院人文公共学府
- 4831)西條結人(2023)「海外日本語教育における授業文化に関する研究の動向と展望ー学習観，教師観，授業観の観点からー」『広島大学大学院人間社会科学研究科紀要・教育学研究』第 4 号 広島大学大学院人間社会科学研究科
- 4832)齋藤一晴(2023)「日中戦争下の華北における日本語教育の実相」「年報日本現代史」編集委員会編(2023)『年報日本現代史第 28 号 日中戦争期日本の華北占領支配』現代史料出版
- 4833)佐伯康考(2023)「日本語指導を必要とする児童生徒の教育課題の変容ー多様化・複雑化する教育課題ー」『経済学論究』第 76 巻第 4 号 関西学院大学経済学部・経済学研究科
- 4834)酒井順一郎(2023)「善隣回民女塾と是永章子・俊子」『新世紀人文学論究』第 7 号 新世紀人文学研究会
- 4835)坂本勝信、谷誠司、山下浩一、内山夕輝、染葉麻愛美(2023)「浜松市と常葉大学の連携による地域日本語教育ー2 年目の実践報告ー」『常葉大学外国語学部紀要』第 39 号 常葉大学外国語学部
- 4836)櫻井豪人(2023)「洋学資料における単語集の特徴ー辞書との関係と相違点を中心にー」『日本語の研究』第 19 巻第 2 号 日本語学会
- 4837)佐藤飛文(2023)「朝鮮開化派たちの日本留学と東京一致英和学校」『明治学院大学キリスト教研究所紀要』第 55 号 明治学院大学キリスト教研究所

- 4838)施詩懷(2023)「近代中国における日本語教育と翻訳事業－上海東文学社をめぐって－」『アジア教育史研究』第 32 号 アジア教育史学会
- 4839)塩田雄大(2023)「NHK 日本語アクセント辞典 80 年 目指すのは言葉の多様性」『Galac』No.653 放送批評懇談会
- 4840)四宮愛子(2023)「遠隔授業による「日本語入門コース」授業の実践例」『神戸大学留学生教育研究』第 7 号 神戸大学大学教育推進機構グローバル教育センター留学生教育部門
- 4841)嶋津拓(2023)「コロナ禍における日本語教育－埼玉大学の場合(その 2)－」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第 17 号 埼玉大学日本語教育センター
- 4842)下岡邦子(2023)「大学入学前における外国人留学生の日本語表現力の傾向と課題－学部で早期合格した外国人留学生への入学前教育の結果を手掛かりとして－」『神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会紀要』第 8 号 神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会
- 4843)下地和宏(2023)「ネフスキー『宮古方言ノート』の内容について」『宮古島市総合博物館紀要』第 27 号 宮古島市総合博物館
- 4844)徐雄彬(2023)「偽満州国と植民地朝鮮の小学校日本語教育体制の特質－「在満朝鮮人」学校に見られる両植民地の教育体制の縮図を手がかりとして－」『新世紀人文学論究』第 7 号 新世紀人文学研究会
- 4845)徐煉(2023)「大学で行われる研究発表の質疑応答に関する研究の動向」『一橋大学国際教育交流センター紀要』第 5 号 一橋大学国際教育交流センター
- 4846)尚真貴子、大城朋子(2023)「専門的日本語教育人材育成の課題と今後の展開－沖縄国際大学大学院における「日本語教育実習」から－」『地域文化論叢』第 21 号 沖縄国際大学大学院地域文化研究科
- 4847)白井純(2023)「『羅葡日辞書』を読み直す－日本語資料としての再評価に向けて－」『日本語の研究』第 19 巻第 2 号 日本語学会
- 4848)白石勝己(2023)「なぜ日本語教育が注目されるようになったのか」『アジアの友』第 555 号 アジア学生文化協会
- 4849)新福悦郎(2023)「韓国併合の強制性に関する日本の検定歴史教科書記述の分析と特色－学校教育での日本語強制に焦点化して－」『石巻専修大学研究紀要』34 石巻専修大学

- 4850)末次智(2023)「ニコライ・ネフスキー旧蔵『おもろさうし』について―天理図書館蔵『おもろさうし』巻十、解説と校異・翻刻―」『沖縄文化研究』50 法政大学沖縄文化研究所
- 4851)鈴木健太(2023)「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律案の概要と国会論議―日本語教育機関の認定制度と日本語教師の国家資格の創設―」『立法と調査』459号 参議院事務局企画調整室
- 4852)瀬井陽子(2023)「日本語教育における「自律的な学習」促進の実践と支援―1990年代以降の議論をたどる―」『多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集』27 大阪大学国際教育交流センター
- 4853)竹内陽介(2023)「ライフストーリー分析による中学校日本語教員の歩みとビリーフ」『立命館教職教育研究』10 立命館大学教職教育推進機構
- 4854)竹口智之(2023)「ロシア極東地域における日本語教育史―日本語ネイティブ教師の視点から―」『兵庫教育大学研究紀要：人間発達教育専攻 特別支援教育専攻 教育内容・方法開発専攻 教育実践高度化専攻 附属学校園』63 兵庫教育大学
- 4855)竹本英代(2023)「阪谷芳郎の日本語学校論」『福岡教育大学紀要』第72号第4分冊 教職科編 福岡教育大学
- 4856)蛸井唯(2023)「地域日本語教室での課題共有について」『人間情報学研究科年誌』第28号 東北学院大学大学院人間情報学研究所
- 4857)田中寛(2023)「国分一太郎の戦地体験と中国民衆像―『戦地の子供』、『外国権益』からの再検証―」『東洋研究』No.228 大東文化大学東洋研究所
- 4858)田中寛(2023)「山口喜一郎再読(1)「わが国の外地における日本語教授の変遷」他―資料全文とその解説・注釈―」『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4859)田中水絵(2023)「ネフスキーを宮古諸島に導いた人々―伊波普猷・田島利三郎・ポリワール・ウィルト―」『沖縄文化』53巻1号 『沖縄文化』編集所
- 4860)田中祐輔(2023)「デジタルアーカイブを用いた終戦前後の日本語教育史研究―木村宗男を中心に―」『青山語文』第53号 青山学院大学日本文学会
- 4861)谷一郎(2023)「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律について」『アジアの友』第555号 アジア学生文化協会

- 4862)谷口龍子(2023)「海外日本語教育インターン派遣に求めるものと求められるものー大学院科目「日本語教育実践研究」での実践を例にー」『日本語・日本学研究』第12号 東京外国語大学国際日本研究センター
- 4863)田村紀雄(2023)「ジャーナリスト梅月高市評伝(104)人々の心を掴んだ熱い佐藤伝の日本語教育」『公評』60・2 公評社
- 4864)曲木威古(チョモ・ヴィグ)(2023)「西昌学院における彝族学生への日本語教育ーその現状と課題・対策ー」『獨協大学外国語教育研究所紀要』第11号 獨協大学外国語教育研究所
- 4865)千葉軒士(2023)「キリシタン・日本語ローマ字写本で用いられる、についてー「バレット写本」を中心にー」『Nagoya Linguistics』17 名古屋言語研究会
- 4866)千葉軒士(2023)「『ドチリナキリシタン』(1592)の「ことばのやわらげ」採録語の出所についてーA部からN部までー」『現代教育学部紀要』第15号 中部大学現代教育学部
- 4867)張静苑(2023)「中国の日本語教育研究の現状と課題(2012-2022)」『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4868)張彩薇(2023)「日本植民地期台湾における西螺公学校と地域社会ー「田舎ニ不相応ナル向学心」の由来と行方ー」『日本の教育史学』Vol.67 教育史学会
- 4869)チャン・ホアンナム、カーテャ・マリノヴァ、マグダレナ・ヴァシレヴァ、ミリツァ・ミネヴァ(2023)「日本とブルガリアの学術交流の可能性を探る」『高等教育研究センター学修支援部門国際教育推進班紀要・年報』2022 徳島大学高等教育研究センター学修支援部門国際教育推進班
- 4870)陳世花(2023)「日本語教育のピア・レスポンスに関する研究概観ー研究方法に着目してー」『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』17集 昭和女子大学大学院文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻
- 4871)陳虹彪(2023)「学籍簿から見る日本統治下台湾の子どもたち(その2)ー新竹州南寮国民学校20期生の場合ー」『平安女学院大学研究年報』第23号 平安女学院大学
- 4872)陳虹彪(2023)「植民地台湾の「公学校用国語読本(第一種)」(第四期)をもう一度読むー編修課の作り手たちに関する考察を中心にー」日本植民地教育史研究会(2023)『植民地教育史研究年報第25号 植民地教科書と「アジア民衆像」』 皓星社

- 4873)津坂朋宏(2023)「日本語文法研究史概説」『東京福祉大学・大学院紀要』第13巻第1・2合併号 東京福祉大学
- 4874)徳田恵、原田三千代、金桂英、古屋憲章、村上智子(2023)「山梨学院大学教材開発プロジェクトの報告ー「日本語文法」教科書の開発を中心にー」『国際共修・語学教育実践』第2号 山梨学院大学グローバルラーニングセンター編集委員会
- 4875)栃丸華緒(2023)「カンボジア国内における日本語教師対象『いろどり生活の日本語』研修ー同期型と非同期型を複合した研修デザインー」『国際交流基金日本語教育紀要』第19号 国際交流基金
- 4876)永岡悦子(2023)「多様な教育現場で育て上げる市民リテラシー(第7回)日本国内の留学生政策、40年の変遷と課題」『内外教育』第7071号 時事通信社
- 4877)中川実(2023)「第21回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会および大会運営事務局の変遷についての報告」『中日本自動車短期大学論叢』53 中日本自動車短期大学
- 4878)中川祐香(2023)「工学系学生に求められる日本語力を養う教材開発」『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』48 大阪産業大学学会
- 4879)中田理子、濱田美和(2023)「オンライン短期留学プログラムにおける初習者向け日本語授業のデザインと教材開発」『富山大学国際機構紀要』第5号 富山大学国際機構
- 4880)中渡理恵子(2023)「地域医療通訳研修における日本語教育の在り方について」『三重大学国際交流センター紀要』第18号 三重大学国際交流センター
- 4881)中村重穂(2023)「山口喜一郎生誕150周年を考えるー戦後の研究史に基づいてー」『日本語教育史研究』Vol.2 日本語教育史研究会
- 4882)鍋島有希(2023)「技能実習生の日本語学習動機づけの研究動向と展望」『桜美林大学研究紀要 人文学研究』第3号 桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群
- 4883)新美達也、高橋勝幸、奥村匡史、松成ソーパー、スワパン・クルットムアン(2023)「海外日本語学習者のキャリア意識と現地進出日本企業ータイとベトナム比較研究ー」『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第59巻第4号 名古屋学院大学総合研究所
- 4884)聶蕙菁、山脇佳、榎井緑、王一瓊、大川ヘナン、山本晃輔、石川朝子(2023)「公教育における外国人生徒の排除と包摂ー5つの高校の比較調査からー」『未来共創』第10号 大阪大学人間科学研究科附属未来共創センター

- 4885)二通信子、阿部仁美、大井裕子(2023)「北海道日本語センターによる地域日本語教育の取り組み」『日本語・国際教育研究紀要』第 26 号 北海道大学高等教育推進機構 国際教育研究部
- 4886)野村淳一(2023)「韓国統監府による私立学校教科書の検閲と排除」『千葉大学大学院 人文公共学府研究プロジェクト報告書 第 376 集：近代東アジアにおける国家と個人』千葉大学大学院人文公共学府
- 4887)包雪峰(2023)「20 世紀前半における赴日モンゴル人留学生史ー内モンゴル医療衛生の近代化におけるホルチンビリクら留学生の位置付けについてー」『統合科学』第 3 号 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科
- 4888)袴田麻里(2023)「理系修士留学生の日本語学習」『静岡大学国際連携推進機構紀要』第 5 号 静岡大学国際連携推進機構紀要
- 4889)長谷川頼子(2023)「日本語教員養成課程を修了した留学生の進路選択」『敬愛大学国際研究』第 36 号 敬愛大学国際学会
- 4890)服部明子、佐藤圭司(2023)「国際交流における実践と課題ー日本語教育の多面性に焦点を当ててー」『三重大学教育学部研究紀要 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学・教育実践』第 74 巻第 2 号 三重大学教育学部
- 4891)林文明(2023)「中日本自動車短期大学における日本語弁論大会ー2010 年から 2022 年までの軌跡ー」『中日本自動車短期大学論叢』53 中日本自動車短期大学
- 4892)伴武澄(2023)「南方特別留学生が残した戦後の軌跡」『Think Asia』No.51 霞山会
- 4893)檜山純子(2023)「金子光晴「マライの健ちゃん」と南方特別留学生オマールの夢ーマレーシアジョホール州よりー」『新世紀人文学論究』第 7 号 新世紀人文学研究会
- 4894)桧山真一(2023)「ニコライ・ネフスキイの茨城・栃木両県への民俗調査旅行」『なろうど』87 号 ロシア・フォークロアの会
- 4895)平田未季(2023)「地域交流団体による地域日本語教室の開設ーハレの国際交流から日常の学習支援へー」『日本語・国際教育研究紀要』第 26 号 北海道大学高等教育推進機構 国際教育研究部
- 4896)平田好、有田佳代子、清水美帆(2023)「日本語教育センター開設と国際化推進ー留学生対象日本語科目必修化に関する実施報告ー」『帝京大学共通教育センター論集』Vol.14 帝京大学共通教育センター

- 4897)平高史也(2023)「大出正篤と文型－『初等日本語読本』と『効果的速成式標準日本語読本』を手がかりに－」『國文學』第 62 号 愛知大學國文學会
- 4898)平畑奈美(2023)「ウクライナにおける日本語教育の展開と侵攻後の課題－東洋大学のウクライナ人学生受け入れとの関連から－」『国際文化コミュニケーション研究』第 6 号 東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科
- 4899)平藤喜久子(2023)「奇人と奇縁の神話研究－レオン・ド・ロニと平田篤胤－」『現代思想』第 51 巻第 16 号 青土社
- 4900)廣田功(2023)「国際日本学科開設に寄せて」『帝京大学国際日本学研究』第 1 号 帝京大学外国語学部国際日本学科
- 4901)符曉旭(2023)「中国における翻訳理論と翻訳教育－大学日本語翻訳教育と機能主義的翻訳理論の可能性－」『東亜大学紀要』第 36 号 東亜大学
- 4902)福岡昌子(2023)「三重大学海外協定校向けオンライン日本語講座－『日本語ディスカッション』－」『三重大学国際交流センター紀要』第 18 号 三重大学国際交流センター
- 4903)福山文子(2023)「『移動する子どもたち』と日本語教育の推進に関する法律－多文化教育政策の視点から見た可能性と課題－」『人文科学年報』53 号 専修大学人文科学研究所
- 4904)藤森智子(2023)「1910 年代・20 年代台湾の社会教育における「国語」教育－『国語捷徑』(1915)を中心に－」日本植民地教育史研究会(2023)『植民地教育史研究年報』第 25 号 植民地教科書と「アジア民衆像」 皓星社
- 4905)二子石優(2023)「日本語学校から大学への進学動向と課題」『アジアの友』第 555 号 アジア学生文化協会
- 4906)細井駿吾、末松大貴(2023)「日本語教師の省察に関する研究では何が示されてきたか－『日本語教育方法研究会誌』第 1 巻から第 28 巻を対象として－」『日本語教育方法研究会誌』Vol.30,No.1 日本語教育方法研究会
- 4907)包賀喜格図(2023)「善隣協会のモンゴル人留日学生に対する日本語教育について」『九州共立大学研究紀要』第 13 巻第 2 号 九州共立大学
- 4908)真嶋潤子(2023)「日本の外国語教育への「CEFR・CV (CEFR 補遺版)」のインパクト」『ドイツ語教育』27 日本独文学会ドイツ語教育部会

- 4909)松永典子(2023)「平和共存をめざす日本語学習と歴史学習の統合可能性—言語・文化と歴史との関連付けを手掛かりに—」『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4910)松宮邑子(2023)「モンゴルにおける日本留学の意味付けの変遷とその現在」『2023年度日本地理学会春季学術大会』日本地理学会
- 4911)宮崎里志(2023)「外国にルーツのある少年院在院者向け社会適応プログラム開発—日本語教育の観点から—」『基礎教育保障学研究』7 基礎教育保障学会
- 4912)向井留実子(2023)「「松山東雲女子大学日本語教師養成プログラム」を振り返って」『松山東雲女子大学人文科学部紀要』第32巻 松山東雲女子大学人文科学部紀要委員会
- 4913)村嶋英治(2023)「タイにおける組織的日本広報文化の先駆者—日泰文化研究所主事平等通昭（通照）の「興亜興仏」的文化交流事業 1940-1943 年—」『アジア太平洋討究』No.46 早稲田大学アジア太平洋研究センター
- 4914)村田竜樹(2023)「日本語支援ボランティアの「教える」活動はどのように形成されるのか—当事者のライフストーリーからの考察—」『名古屋大学人文学フォーラム』6 名古屋大学大学院人文学研究科図書・論集委員会
- 4915)村元治(2023)「インクルーシブ教育の理念に基づく外国につながる児童生徒への教育支援」『弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）年報』第5号 弘前大学大学院教育学研究科
- 4916)持丸邦子(2023)「移民二世の大学での日本語教育—留学生別科の活用—」『城西現代政策研究』第16巻第2号 城西大学現代政策学部
- 4917)森康眞(2023)「日本語能力試験・受験者数から見たタイ王国の日本語学習状況—日本語学習の深化を考える機会として—」『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4918)守屋久美子(2023)「遠隔日本語教育実習における学習環境デザインに関する先行研究の調査」『言語・地域文化研究』第29号 東京外国語大学大学院総合国際学研究科
- 4919)柳沼孝一郎(2023)「日本の海外移住政策—対ラテンアメリカ移住政策の変遷と日系社会の形成—」『神田外語大学日本研究所紀要』第15号 神田外語大学日本研究所
- 4920)柳田直美(2023)「日本語教育実習に関する研究の動向と展望—2010 年以前を中心に—」『一橋日本語教育研究』11 ココ出版



- 4921)矢野正人(2023)「孫文のお使いー歴史はひとにありー」『茗溪』2023 春 no.1116  
一般社団法人茗溪会
- 4922)山口雅代(2023)「東亜経済調査局附属研究所卒業生(大川塾生)のタイでの活動ー日本語教育・日タイ文化会館との関係についてー」『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4923)山下千聖(2023)「少年院に在院する外国にルーツのある少年の現状ー各少年院における教育と在院状況の調査からー」『基礎教育保障学研究』7 基礎教育保障学会
- 4924)山本一生(2023)「中華民国汪精衛政権期青島特別市における小中学生日本語作文について」『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4925)山本和行(2023)「植民地統治初期の台湾における国語伝習所および公学校教員に関する制度について」『中国文化研究』第39号 天理大学中国文化研究会
- 4926)山森理恵、二瓶知子(2023)「相互交流を軸としたオンラインによる日本語短期プログラム実践報告」『明治大学教養論集』574号 明治大学教養論集刊行会
- 4927)横山りえこ(2023)「地域日本語教育における教室運営に関わる課題とその対応ー国際交流協会Aの事例からー」『言語文化教育研究』第21巻 言語文化教育研究学会
- 4928)吉嶺加奈子(2023)『『絵の裏』の裏を読むータイ人日本留学生としてのノッポンー』『新世紀人文学論究』第7号 新世紀人文学研究会
- 4929)吉嶺加奈子(2023)「タイの大学における日本語教育の組織的なネットワーク」『タイ国情報』第57巻第4号 公益財団法人日本タイ協会
- 4930)ルチラ・パリハワダナ(2023)「修了研究テーマから見た日研生の日本に対する関心事と日本研究へのアプローチー15 大学日研生の研究テーマ分析を基にー」『京都大学国際高等教育院紀要』第6号 京都大学国際高等教育院
- 4931)和田大知(2023)「下田歌子文書(四)『下田歌子宛書簡ー河原操子書簡』(二通)ー明治三十七年六月十日付書簡及び明治三十八年五月二十二日付書簡ー」『実践女子大学下田歌子記念女性総合研究所 年報』第9号 実践女子大学
- 4932)王詩淇(2023)「『満洲国』初等学校の日本語教科書に描かれた日本人像」日本植民地教育史研究会(2023)『植民地教育史研究年報第25号 植民地教科書と「アジア民衆像」』皓星社

- 4933)王鼎(2023)「清末における中国人日本留学生の創刊雑誌から見た同郷会－『湖北学生界（漢声）』と「湖北同郷会」を巡って－」『アジア教育史研究』第32号 アジア教育史学会
- 4934)青柳寛(2024)「日本語学習に観るクールジャパン効果について－韓国の高등학교の事例から（国際アーツ&パフォーマンス探究分野開拓への示唆の試み）－」『明治学院大学国際学部附属研究所研究年報』第27号 明治学院大学国際学部附属研究所
- 4935)青山美佳(2024)「“今こそ知りたい！”日本語教育と日本語教師の歴史」アルク日本語編集部編(2024)『日本語教員試験まるわかりガイド』アルク
- 4936)秋元みどり(2024)「カンボジアとのオンライン日本語レッスン活動－コロナ禍でのボランティア実践の評価－」『シビックエンゲージメント研究』第2号 青山学院大学シビックエンゲージメントセンター
- 4937)浅川哲也(2024)「学校文法（国文法）における副詞認定の問題点について」『東京都立大学教職課程紀要』第8号 東京都立大学教職課程紀要編集部会
- 4938)安達万里江(2024)「筑波学院大学の日本語教育－過去・現在の考察と日本国際学園大学の日本語教育への提案－」『筑波学院大学紀要』第19集 筑波学院大学
- 4939)荒川雪(2024)「戦後中国人留日学生団体機関紙の読者層の使用言語と中国語学習－『中国留日学生報』（1947-1957）に見られる変化－」『アジア文化研究所研究年報』No.58 東洋大学アジア文化研究所
- 4940)Andrew Hall(2024)「「満州・満州国」教育史研究の史料紹介」日本植民地教育史研究会(2024)『植民地教育史研究年報第26号 植民地と修身教育－朝鮮・台湾を中心に－』皓星社
- 4941)池田菜採子(2024)「初級日本語学習者に対する B.Bloch のアクセント教育の評価－Spoken Japanese を分析して－」『名城大学外国語学部紀要』7巻 名城大学
- 4942)伊東祐郎(2024)「「登録日本語教員」の制度と日本語教育分野への影響」『小出記念日本語教育学会論文集』32 小出記念日本語教育学会
- 4943)今川美幸、谷田増幸(2024)「兵庫県における外国人児童生徒等の教育に関する取組と今後の展望－『外国人児童生徒等のための受入れハンドブック～指導・支援を充実させるために～』を手がかりにして－」『兵庫教育大学学校教育学研究』第37巻 兵庫教育大学

- 4944)今西利之(2024)「日本語教育実習における遠隔授業見学・教壇実習・交流の試みーコロナ禍での遠隔教育の経験をふまえてー」『高等教育フォーラム』Vol.14 京都産業大学
- 4945)今村志紀(2024)「アストン『口語文典』『文語文典』構成にみる相互の影響関係」『上智大学文化交渉学研究』12号 上智大学大学院文学研究科文化交渉学専攻
- 4946)上田和子、野畑理佳、林貴哉(2024)「2023 年度日本語教育関連活動の報告および「コロナ禍」前後における教育実践の検証」『武庫川国文』第96号 武庫川女子大学国文学会
- 4947)植田晃次(2024)「日本近代朝鮮語教育史の視点から見た笹山章と朝鮮語(2)ー『普通学校に於ける国語教授の理論と実際』を手掛かりにー」『言語文化共同研究プロジェクト 2023 批判的社会言語学の様相』大阪大学大学院人文学研究科言語文化学専攻
- 4948)上田崇仁(2024)「1940年代『毎日新報』連載の「国語」学習教材ー「日常会話」について(1942年1月22日から同年6月30日 全126回)ー」『南山大学日本文化学科論集』第24号 南山大学日本文化学科
- 4949)上野昌之(2024)「近代日本における先住民族への同化教育ー北海道と沖縄の比較考察ー」『東洋大学文学部紀要』第77集(教育学科編 XLIX) 東洋大学文学部教育学科
- 4950)江副隆秀(2024)「日本語教育半世紀の歴史、でも新しい悩みはつきないー新宿日本語学校ー」『国際人流』36巻2号 入管協会
- 4951)遠藤佳那子(2024)「W.G.アストン『日本文語文典』初版 訳註稿(4)」『鶴見大学紀要. 第1部, 日本語・日本文学編』61号 鶴見大学
- 4952)大串尚代(2024)「慶應義塾の国際化の現状」『三田評論』1292号 慶應義塾大学
- 4953)岡田誠(2024)「岡本千太郎の再評価ーその日本語教育と日本語学ー」『日本文学誌要』110 法政大学国文学会
- 4954)岡崎幸司(2024)「戦後台湾高等教育機関日本語学科小史(1)ー烏有から勃興へー」『立命館文学』第630号 立命館大学人文学会
- 4955)岡本輝彦(2024)「台湾の應用外語系日文組における日本語教育」『中国学園紀要』第23号 中国学園大学／中国短期大学

- 4956)小川誉子美(2024)「30 周年に寄せて」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 4957)小川誉子美(2024)「高田早苗と国語国字改良論争」(公財)日本のローマ字社(2023)『Rômazi no Nippon』dai 676 gô Nippon-no-Rômazi-Sya
- 4958)尾崎るみ(2024)「B. H. チェンバレン『ローマ字日本語読本』研究ーちりめん『欧文日本昔噺』シリーズ『松山鏡』および『因幡の白兎』との関連を中心にー」『白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集』27 白百合女子大学児童文化研究センター
- 4959)小野田理央(2024)「これからの地域日本語教室で求められることー「共生言語としての日本語」をめぐる研究の概観よりー」『人間情報学研究科年誌』29 号 東北学院大学大学院人間情報学研究科
- 4960)小野田亮、礒田朋子(2024)「日本のネパール人留学生をめぐる政策と支援体制からみる課題」『看護学統合研究』Vol.26, No.1 広島文化学園大学看護学部
- 4961)垣内哲(2024)「コロナ禍における留学生受け入れ上位校の分析ー留学生の総数と比率から見た大学学部の実態ー」『桜美林大学研究紀要.総合人間科学研究』第4号 桜美林大学
- 4962)鹿嶋恵、吉里さち子、片山きよみ、赤木昌子(2024)「自然科学分野への橋渡しを目指す日本語読解教材の開発過程ー日本語文章難易度判別システムの活用の利点と課題ー」『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』第16号 アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会
- 4963)嘉納英明(2024)「沖縄における外国籍等の子どもの支援に関する研究ー沖縄市の事例を中心にー」『地域研究』第31号 沖縄大学地域研究所
- 4964)上出大河(2024)「植民地期台湾における二重否定形式の当為表現についてー『全国小学児童綴方展覧会』(1936)採録「綴方」を対象としてー」『さいたま言語研究』第8号 埼玉大学大学院人文社会科学研究科日本語専攻内 さいたま言語研究会
- 4965)上出大河(2024)「『全国小学児童綴方展覧会』採録植民地期台湾系児童「綴方」における「れる」「られる」使用の諸相」日本近代語研究編(2024)『論集日本近代語<第3集>』勉誠社
- 4966)神吉宇一(2024)「第6章 日本語教育政策研究は何をめざすのかー人文学としての日本語教育学と学際性ー」西口光一監修(2024)『一步進んだ日本語教育概論ー実践と研究のダイアローグー』大阪大学出版会

- 4967)賀茂道子(2024)「日本民主化における言語改革の背景と意義」『国立国語研究所論集』第26号 国立国語研究所
- 4968)ガリーナ・ヴォロビヨワ(2024)「キルギスの日本語学習者、教師、研究者としての経験を振り返って」『日本キルギス文化研究会会誌』第8号 日本キルギス文化研究会
- 4969)川上郁雄(2024)「緒言ー日研の年少者日本語教育研究22年ー」『早稲田日本語教育学』第36号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 4970)川口敦子(2024)「1590年以前の日本語ローマ字資料について」『三重大学日本語学文学』第34号 三重大学日本語日本文学研究室
- 4971)川崎信隆、市野瀬和正、鈴木真人(2024)「新潟工業短期大学における留学生教育に関する取り組み」『工学教育』第72巻第1号 公益社団法人日本工学教育協会
- 4972)川村潤子(2024)「中国人移住者における在留資格「技能」所持者の実態ー在留資格の沿革と東海地域の中華料理人の生活戦略よりー」『現代と文化：日本福祉大学研究紀要』第148号 日本福祉大学福祉社会開発研究所
- 4973)鴈野恵(2024)「日本語教師の職能の変遷に関する検討ー国家資格「登録日本語教員」をめぐってー」『筑紫女学園大学人間文化研究所年報』第35号 筑紫女学園大学人間文化研究所
- 4974)菊岡由夏、山本実佳、須摩亜由子、西島阿弥子、山岸愛美、湯本かほり(2024)「JF日本語教育スタンダードを活用した生活者向けダイアログ教材の開発と活用ー「Learn Japanese from the News」の関連コンテンツとしてー」『国際交流基金日本語教育論集』第20号 国際交流基金
- 4975)菊岡由夏、石山友之、本田雅美(2024)「ストラテジーで学ぶ日本語学習番組「ひきだすにほんご Activate Your Japanese!」の開発とその反響」『国際交流基金日本語教育論集』第20号 国際交流基金
- 4976)岸本恵美(2024)「F. エヴラール『日本語教程』(1874年刊)の人称代名詞」日本近代語研究編(2024)『論集日本近代語<第3集>』勉誠社
- 4977)金昴京(2024)「ある韓国高年層の残存日本語テキスト」『愛知淑徳大学論集ー交流文化学部篇ー』第14号 愛知淑徳大学交流文化学部
- 4978)郭南燕(2024)「日本語文学史の構築」『明治大学日本文学』第48号 明治大学日本文学研究会

- 4979)久野弓枝、藤原安佐(2024)「日本語非常勤講師の労働の周辺状況に関する一考察」『札幌大学研究紀要』第 6 号 札幌大学
- 4980)栗田奈美、秋元美晴、志賀里美(2024)「地域と大学を結ぶ日本語学習支援者養成講座の試み」『恵泉女学園大学紀要』第 34・35 号 恵泉女学園大学〔2023 年第 34 号改訂〕
- 4981)Kristen Sullivan(2024)「Discussions about Study Abroad and Student Exchange to Japan at Australian Universities in the Publications of the Japanese Studies Association of Australia: 1981 to 1997」『西南女学院大学紀要』Vol.28 西南女学院大学〔英文〕
- 4982)黒岡佳柁(2024)「コミュニケーションにおける沈黙と思考ー日本語教育の理念を介してー」『立命館大学人文科学研究紀要』140 号 立命館大学人文科学研究所
- 4983)黒川茉莉(2024)「日本イエズス会刊行文典の階層構造ー本則と Appendix の関係を中心にー」『国文学攷』第 257 号 広島大学国語国文学会
- 4984)高民定(2024)「日本語のよみかき実践における言語管理ー団地に居住する中国帰国者の事例を中心にー」『千葉大学大学院人文公共学府研究プロジェクト報告書』第 385 集 千葉大学大学院人文公共学府
- 4985)國分建志(2024)「誤植の殿堂『説日語』ーその誕生と変遷(十三)ー」『文學藝術』70 共立女子大学文芸学部
- 4986)小林勝年(2024)「ウラジオストック 51 番学校における日本語授業の実践」『地域教育学研究』第 16 巻第 1 号 鳥取大学地域学部地域学科人間形成コース
- 4987)小森万里、松村薫子、莊司育子(2024)「非常時での日本語・日本文化教育を止めないためにーコロナ禍における短期留学生教育での取り組みを中心にー」『日本語・日本文化』第 51 号 大阪大学日本語日本文化教育センター
- 4988)斉藤知花、森田淳子、小林亜希子(2024)「ロシアによるウクライナ侵略後の日本語教育環境の変化と現状ー日本語教師を対象としたアンケート調査を中心にー」『東京外国語大学国際日本学研究』第 4 号 東京外国語大学大学院国際日本学研究院
- 4989)齋藤美穂(2024)「豪州日本語学習者対象短期日本語プログラムの開発と実践ー「神戸日本語プログラム」立ち上げから 4 年間の実践ー」『神戸大学留学生教育研究』8 号 神戸大学国際連携推進機構グローバル教育センター留学生教育部門

- 4990)酒井順一郎(2024)「『満洲国』における回教徒問題―1944年発表の富永理の調査報告資料を中心に―」『新世紀人文学論究』第8号 新世紀人文学研究会
- 4991)酒井佑輔(2024)「地方部の自治体社会教育による日本語教室開設と展開―鹿児島県伊佐市の事例を通して―」『部落解放研究』第221号 部落解放・人権研究所
- 4992)坂本勝信、谷誠司、山下浩一、内山夕輝、河口美緒(2024)「浜松市と常葉大学の連携による地域日本語教育―3年目の実践報告―」『常葉大学外国語学部紀要』第40号 常葉大学外国語学部
- 4993)坂本正、宮本真有(2024)「日本語教育文法再考―より学びやすい日本語教育文法を目指して―」『名古屋外国語大学論集』第14号 名古屋外国語大学
- 4994)佐々木英和(2024)「日本語「学び直し」の歴史的展開―新聞記事データベースを活用した実証的研究―」『社会教育』79巻1号 日本青年館「社会教育」編集部
- 4995)佐々木良造(2024)「マレーシア政府派遣による日本留学のための渡日前予備教育に関する文献調査」『静岡大学国際連携推進機構紀要』第6号 静岡大学国際連携推進機構
- 4996)佐藤尚子(2024)「千葉大学における日本語研修コース(日本語予備教育)の30年―2013年度後期から2023年度後期を中心に―」『千葉大学国際教養学研究』8号 千葉大学国際教養学部
- 4997)佐藤由美(2024)「興文中学校と朝鮮人「留学生」―昭和戦前期の中等教育機関の一側面―」『人文科学年報』54号 専修大学人文科学研究所
- 4998)實平雅夫(2024)「グローバル教育センターの沿革―設置30周年にあたって―」『神戸大学留学生教育研究』8号 神戸大学国際連携推進機構グローバル教育センター留学生教育部門
- 4999)鹿浦佳子(2024)「関西外大と歩んだ40年間の報告」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第34号 関西外国語大学留学生別科
- 5000)嶋田和子(2024)「地域日本語教育と日本語学校の課題と可能性を探る―教育の質の向上と制度設計を軸に―」『小出記念日本語教育学会論文集』32 小出記念日本語教育学会
- 5001)肖江楽(2024)「モリソン辞書における日本への伝播及び影響―主に1822年の『英華字典』を中心に―」『立教大学日本語研究』30 立教大学日本語研究会

- 5002)許佩賢(2024)「日本統治時代台湾教育史の基本史料と台湾における近年の研究概況について」『世界の日本研究 2023』 国際日本文化研究センター
- 5003)徐一平、曹英南、ダオ・ティ・ガア・ミー、ポリリー・ザトラウスキー、ジャン・バザンテ、カラム・ハリール・サーレム、近藤泰弘、木部暢子、庵功雄、太田陽子、田中祐輔(2024)「日本語学会 2024 年度春季大会シンポジウム報告 世界の日本語学」『日本語の研究』第 20 巻 3 号 日本語学会
- 5004)徐雄彬、王詩淇(2024)「偽満州国と植民地朝鮮の小学校日本語教科書における人物像の比較分析」『新世紀人文学論究』第 8 号 新世紀人文学研究会〔中文〕
- 5005)徐雄彬、王詩淇(2024)「近代日本の植民地における「同化」主義教育の矛盾性：同質化と差別化－植民地朝鮮と偽満州国の日本語教育を例として－」『桜美林大学研究紀要・総合人間科学研究』第 4 号 桜美林大学
- 5006)謝霞(2024)「日本語における感動詞の研究動向と課題」『研究会報告』第 52 号 日本語文法研究会
- 5007)白石勝己(2024)「コロナ禍の前後における外国人留学生数の推移－国・地域別分析－」『アジアの友』第 558 号 アジア学生文化協会
- 5008)新内康子(2024)「日本語教育史研究との出会い」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5009)末松大貴(2024)「日本語教育における「実践研究」の再考－日本語教育と学校教育の先行研究に見られる記述を基に－」『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』第 36 巻 第 1 号 名古屋学院大学総合研究所
- 5010)助川晃洋(2024)「通級による日本語指導における特別の教育課程の導入－帰国・外国人児童生徒等へのサポートを意図して－」『教育学論叢』第 41 号 国士舘大学教育学会
- 5011)瀬井陽子、義永美央子、難波康治、角南北斗、井奥智大(2024)「SALC の学生スタッフと創る日本語学習支援－OU マルチリンガルプラザの活動から－」『多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集』第 28 号 大阪大学国際教育交流センター
- 5012)瀬尾悠希子(2024)「日本語教育におけるライフストーリー研究の展開と今後の展望－ライフストーリー研究は日本語教育に何をもたらすことができるか－」『日本語教育』187 号 日本語教育学会



- 5013)関正昭(2024)「思い出すことなど」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5014)瀬戸彩子(2024)「タンザニア・ドドマ大学における日本語教育の歩みー2009年から2020年の記録ー」『国際学報』Vol.2 東京都立大学国際センター
- 5015)松婷(2024)「「満洲国」成立前後の満鉄附属地の公学校における教育の郷土化ー郷土科の内容と特徴に着目してー」『筑波大学教育学系論集』第48巻第1号 筑波大学人間系教育学域
- 5016)松婷(2024)「満鉄附属地における公学校の常識科の経緯と特徴ー1920年代後半から1931年までを中心としてー」『東アジア教育研究』第47号 東アジア教育研究所
- 5017)高尾戸美(2024)「博物館における在住外国人を対象とした「やさしい日本語」の展開に関する一考察」『國學院大學博物館學紀要』第48輯 國學院大學
- 5018)高橋晶子(2024)「B.H.チェンバレン"AINO FAIRY TALES(アイヌ昔噺)"におけるアイヌ口承文芸の子ども向け再話」『ヘカッチ：日本児童文学学会北海道支部機関誌』第19号 日本児童文学学会北海道支部事務局
- 5019)田中京子(2024)「国際交流アドバイザー33年」『留学生交流・指導研究』Vol.26 国立大学留学生指導研究協議会
- 5020)田中京子(2024)「留学生相談・支援組織の変遷ー13回におよぶ改編が実践現場にもたらした影響ー」『留学生交流・指導研究』Vol.26 国立大学留学生指導研究協議会
- 5021)田中寛(2024)「坪田譲治「満洲・繪ばなし」にみる民衆・社会像」『新世紀人文学論究』第8号 新世紀人文学研究会
- 5022)田中寛(2024)「日本軍政期インドネシアにおける日本語普及及び教育の実態に関する考察(1)ー『ジャワ新聞』掲載記事などを中心にー」『東洋研究』第233号 大東文化大学東洋研究所
- 5023)田中寛(2024)「日本語教育史研究の目的と方法ー言語接触と「平和教育学」からの視座ー」『ことばと文字』17号 日本のローマ字社
- 5024)田中祐輔(2024)「共創のための日本語ー担い手の多様化がもたらす双方向性と融合性ー」『文学・語学』第240号 全国大学国語国文学会
- 5025)田中祐輔(2024)「戦後日本語教材関連文献アーカイブを用いた言説分析」『青山学院大学文学部紀要』第65号 青山学院大学文学部

- 5026)田中里奈(2024)「フェリス女学院大学日本語教員養成講座 30 年史 (1993-2022 年) —カリキュラムの変遷と取り組み、および、今後の課題—」『玉藻』58 巻 フェリス女学院大学国文学会
- 5027)Daniel Long、Keisuke Imamura(2024)「How do Japanese-origin Loanwords in Hawaiian English differ from those in Nan'yo Languages?」『人文学報』No.520 東京都立大学人文科学研究科人文学報編集委員会
- 5028)玉置充子(2024)「戦後台湾における日本語教育の「復活」—1960～70 年代の日本語学科設置の背景—」『拓殖大学日本語教育研究』第 9 号 拓殖大学日本語教育研究所
- 5029)張建偉、姚艷玲(2024)「日本国会会議録における日本語教育政策の談話構築研究」『研究会報告』第 52 号 日本語文法研究会
- 5030)朱桂榮、彭子燕、楊錄溪(2024)「中国の大学の日本語教科書における登場人物の設定に関する研究」『比較日本学教育研究部門研究年報』第 20 号 お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所
- 5031)鄭秋迪(2024)「新文科下における中国の大学日本語教育の現状と課題—第二外国語としての日本語教育を中心に—」『日本語学研究と資料』第 47 号 日本語学研究と資料の会
- 5032)周一川(2024)「京都帝国大学における中国人留学生データの解析—昭和初期 (1927-1937 年) の入学者を中心に—」『人文学研究所報』71 巻 神奈川大学人文学研究所
- 5033)陳虹彪(2024)「大正期植民地台湾における公学校の設置と就学状況—台南の媽祖廟公学校を中心に—」日本植民地教育史研究会(2024)『植民地教育史研究年報第 26 号 植民地と終身教育—朝鮮・台湾を中心に—』 皓星社
- 5034)鄒淑娟(2024)「日本占領下北京日本語ラジオ講座について—講師柯政和とその『初級日語講座読本』を中心に—」『言語と文化』第 36 号 文教大学
- 5035)辻本桜子(2024)「大学生による大学生のための「やさしい日本語」関連動画の制作過程」『日本教育工学会研究報告集』2024 巻 2 号 日本教育工学会
- 5036)土田恵未(2024)「鹿浦佳子先生略歴及び業績一覧」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第 34 号 関西外国語大学留学生別科
- 5037)坪内好子、寄本圭子(2024)「多文化社会を共に生きる」『共生学研究』1 巻 共生学会

- 5038)土居美有紀(2024)「覚王山インタビュープロジェクトの変遷」『外国人留学生別科紀要』第7号 南山大学外国人留学生別科
- 5039)徳田恵、原田三千代、金桂英、古屋憲章、村上智子(2024)「山梨学院大学教材開発プロジェクトの報告ー「日本語語彙」教科書の開発ー」『国際共修・語学教育実践』第3号 山梨学院大学グローバルラーニングセンター編集委員会
- 5040)徳永光展(2024)「ミネアポリスのアメリカ陸軍情報部日本語学校における語学兵の養成ー山崎豊子『二つの祖国』に描かれた太平洋戦争下の日本語教育ー」『語文』第122輯 大阪大学
- 5041)友沢昭江(2024)「Family Language Policy から考える中国帰国者の子どもの言語」『母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究』20周年記念特別号 母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 学会
- 5042)友永達也(2024)「日本の音声言語教育における「問うこと」実践理論の展開ー大正から昭和までを対象にー」『教育科学論集』第27号 神戸大学大学院人間発達環境学研究科『教育科学論集』編集委員会
- 5043)寅丸真澄、中井陽子、大場美和子(2024)「「話し合い」の研究論文の年代別動向ー教育現場に活かす「話し合いの型」の提案ー」『早稲田日本語教育学』第36号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 5044)中生勝美(2024)「台湾タオ族の伝統文化と社会変化」『桜美林大学研究紀要 社会科学研究』第4号 桜美林大学
- 5045)中尾真央(2024)「鹿児島国際大学の留学生に対する日本語教育の実践と今後の展望ー日本語特別プログラムにおける日本語科目の実態と課題についてー」『国際文化学部論集』第25巻第1号 鹿児島国際大学国際文化学部
- 5046)中島千恵(2024)「外国人を対象とする日本語教育における自治体の公的責任ー取組の継続性を目指してー」『京都文教大学こども教育学部研究紀要』第4集 京都文教大学
- 5047)永田和寛(2024)「法楽寺の自由学校にてー芦田恵之助が遺した問いー」『教科外活動と到達度評価』第24号 全国到達度評価研究会教科外教育分科会
- 5048)長塚隆(2024)「旧植民地教科書のデジタル公開の現状と課題」『情報知識学会誌』Vol.34, No.2 情報知識学会

- 5049)中村重穂(2024)「中華民国新民会日本語教授法指導書の一考察—熊野逸馬『日本語と日本語教授法概要』の分析—」『日本語教育』187号 日本語教育学会
- 5050)根津誠(2024)「継承日本語教育の状況の変化と必要な支援—国際交流基金での経験から—」『母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会紀要』20周年記念特別号 母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会
- 5051)根本愛子(2024)「M-GTAによる日本語教育研究—M-GTA 文献データベースにおける日本語教育領域論文の分析—」『日本語教育』187号 日本語教育学会
- 5052)野崎雅子(2024)「終戦直後の日本における GHQ 将校を対象とした日本語教育—GHQ 文書からみる日本地区語学科—」『社会学論集』Vol.44 早稲田大学大学院社会科学研究所
- 5053)袴田郁一(2024)「二〇二三年度春季企画展「早稲田大学清国留学生部—20 世紀初頭の日本留学ブームと留学生事情—」」『早稲田大学史記要』第 55 巻 早稲田大学歴史館
- 5054)長谷川恒雄(2024)「「大航海時代の東アジアにおける日本語中国語研究」の源流としての「自由 7 科系譜の教育」について」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5055)長谷川恒雄(2024)「僕の「日本語教育史」の道程」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5056)服部明子、何佩遥、村鳥舞弥、水谷匡伸(2023)「地域の日本語教育課題に関する教育実践プログラムの開発—三重県内の高校関係者との連携をもとに—」『三重大学高等教育研究』第 30 号 三重大学高等教育デザイン・推進機構
- 5057)潘揚波(2024)「日本軍事学校の清国人留学生に関する一次史料調査」『年報 2022』名古屋大学大学院人文学研究科教育研究推進室
- 5058)肥田栞奈(2024)「地域方言を対象とした日本語教育実践の在り方に関する調査報告とその課題」『関西学院大学日本語教育センター紀要』13 号 関西学院大学日本語教育センター紀要委員会
- 5059)檜山純子(2024)「南方特別留学生オマールの妹アザアジズと俳句—日本語教育になぐ—」『新世紀人文学論究』第 8 号 新世紀人文学研究会
- 5060)桧山真一(2024)「佐々木喜善とニコライ・ネフスキ—オシラ神の協同研究とその破綻(上)—」『なろうど』88 号 ロシア・フォークロアの会

- 5061) 桧山真一(2024)「佐々木喜善とニコライ・ネフスキイーオシラ神の協同研究とその破綻(下)ー」『なろうど』89号 ロシア・フォークロアの会
- 5062) 平田諭治(2024)「1890年代前半の岡倉由三郎の教育・研究活動ー東京府尋常中学校勤務を中心とする職歴と著述に注目してー」『筑波大学教育学系論集』第49巻第1号 筑波大学人間系教育学域
- 5063) 平高史也(2023)「私の日本語教育史事始め」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5064) 黄均鈞、陳玲、徐愷萌、田佳月(2024)「中国の大学における日本語専攻卒業生(2001～2020年度)のキャリア形成に関する調査」『専門日本語教育研究』26号 専門日本語教育学会
- 5065) 福池秋水(2024)「関西外国語大学留学生別科における日本語教育実習」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第34号 関西外国語大学留学生別科
- 5066) 福村真紀子(2024)「よみかき実践の視点による日本語学習支援の再考ーリテラシーに内在するイデオロギーを批判する文献の検討からー」『国立国語研究所論集』26 国立国語研究所
- 5067) 二子石優(2024)「日本語学校の歴史的変遷とこれからー「日本語教育機関認定法」制定をめぐってー」『東洋大学国際教育センター紀要』第2号 東洋大学国際教育センター紀要編集委員会
- 5068) 古屋憲章、古賀万紀子、小畑美奈恵(2024)「テレビ番組は日本語教育をどのように描いてきたかーNHK番組アーカイブスを用いた表象研究ー」『言語文化教育研究』第22巻 言語文化教育研究学会
- 5069) 堀井恵子(2024)「アカデミック・ジャパニーズ教育研究は何を目指すのかーこれまでの研究からー」『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』第16号 アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会
- 5070) 本田弘之(2024)「「研究背景」としての日本語教育史」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5071) 前川正(2024)「「TAEP 日本語コース」の変遷と展望」『帝京経済学研究』57巻2号 帝京大学経済学会
- 5072) 前田均(2024)「私の日本語教育史研究の歩み」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会

- 5073)三浦則子(2024)「留学生対象：日本語発展「文章表現を学ぶ」授業の実践報告」『駒澤日本文化』第18号 駒澤大学総合教育研究部日本文化部門
- 5074)溝井真人(2024)「中国の大学日本語教育における「思政」教育—その受容と課題を巡って—」『日本語学研究と資料』第47号 日本語学研究と資料の会
- 5075)道上史絵(2024)「「技能人材」への日本語教育の動向と課題」『立命館アジア・日本研究学術年報』第5号 立命館大学アジア・日本研究所
- 5076)宮本正明(2024)「「征韓紀行」—立教学校への留学生の受け入れを伴った朝鮮視察の記録—」『立教学院史研究』第20号 立教大学立教学院史資料センター
- 5077)宮脇弘幸(2024)「満洲・間島地方の朝鮮人に対する教育施策」『新世紀人文学論究』第8号 新世紀人文学研究会
- 5078)村上智子、徳田恵、原田三千代、金桂英、古屋憲章(2024)「山梨学院大学教材開発プロジェクトの報告—「日本語コミュニケーション」教科書の開発—」『国際共修・語学教育実践』第3号 山梨学院大学グローバルラーニングセンター編集委員会
- 5079)村田晶子、神吉宇一(2024)「第1章 日本語学習は本当に必要か—多様な現場の葛藤とことばの教育—」村田晶子、神吉宇一編著(2024)『日本語学習は本当に必要か—多様な現場の葛藤とことばの教育—』明石書店
- 5080)村田道明(2024)「イェール大学における陸軍の戦時日本語教育—戦時教育は戦後に何を残したか—」『日本語教育史研究』Vol.3 日本語教育史研究会
- 5081)八木正自(2024)「Bibliotheca Japonica(317) S.R.ブラウンの日本語会話書」『日本古書通信』89巻5号 日本古書通信社
- 5082)山口雅代、ธานัท ปญโญ(THANANAT Panyo)、วลัยพร กาญจนการณ(WALAIPORN Kanjanakaroon)、川口泰広(2024)「戦時下のチェンマイにおける日本軍と日本語教育との関係—チェンマイでの調査と共に—」『新世紀人文学論究』第8号 新世紀人文学研究会
- 5083)山口雅代(2024)「チェンマイとコタバルでの調査報告—戦時下における日本語学校を中心に—」『東京福祉大学・大学院紀要』第14巻第1・2合併号 東京福祉大学・大学院
- 5084)山田大介、山田知代(2024)「日本語教員養成課程の設置準備と海外教育実習先開拓の報告」『紀要』16号 多摩大学グローバルスタディーズ学部

- 5085)山田直之(2024)「作文・綴方教育における「主体の拘束性」批判―芦田恵之助を対象とした活動理論的分析―」『全国大学国語教育学会国語科教育研究：大会研究発表要旨集』146 全国大学国語教育学会
- 5086)于心、李東哲(2024)「計量学アプローチによる中国日本語教育の研究動向と現状」『日本言語文化研究』10 巻 アジア日本言語文化研究会
- 5087)吉田朋彦(2024)「W. G. アストンの『日本口語文典』における名詞と代名詞―『日本口語小文典』第3版と『日本文語文典』との比較から―」『城西国際大学紀要』第32 巻第2 号 城西国際大学
- 5088)頼美麗、岡本輝彦(2024)「『政府公報』を中心とした公的文書に見る戦後台湾における日本語に対する言語政策―日本語に対する教育政策を中心に―」『別府大学日本語教育研究』第14 号 別府大学日本語教育研究センター
- 5089)Rashaad Eshack(2024)「Temples of Virtue―Crafting Nikkei Citizenship in 1930's Japanese Language Schools in Peru―」日本移民学会編集委員会編(2024)『移民研究年報』第30 号 明石書店
- 5090)李成愛(2024)「中日における日本語学習者の論文指導の研究動向分析―日本語教育に生かすための研究をめざして―」『言語の研究』13 号 首都大学東京言語研究会
- 5091)李郁蕙(2024)「井伏鱒二『花の町』における多言語空間の語り方」『アジア社会文化研究』25 号 アジア社会文化研究会
- 5092)劉羅麟、趙氷清(2024)「日本語教師の音声教育観と指導実態に関する文献研究―先行研究の質問項目と調査結果の整理―」『早稲田日本語教育学』第36 号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 5093)呂順長(2024)「嘉納治五郎と中国人留学生教育」『孫文研究』第73 号 孫文研究会
- 5094)呂順長(2024)「中国学界における清代中日文化交流史研究の回顧」『世界の日本研究2023』国際日本文化研究センター
- 5095)呂充代(2024)「日本語「中級」の定義と変遷に関する考察」『かほよとり』20 号 武庫川女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻院生研究会
- 5096)羅永祥(2024)「J-STAGE における日本語教師に関する研究動向調査―1999 年から2023 年までの研究を中心に―」『かほよとり』20 号 武庫川女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻院生研究会

- 5097)渡部麻実(2024)「フランスを中心とする在西欧図書館における日本関係資料をめぐる状況、ならびにチューリッヒ大学図書館蔵〈川端康成書簡〉の紹介」『近代作家旧蔵書研究会年報』第2号 近代作家旧蔵書研究会
- 5098)渡邊義浩(2024)「清国留学生部展と北京大学」『早稲田大学史記要』第55巻 早稲田大学歴史館
- 5099)王詩淇(2024)「『満州国』初等学校の日本語教科書のテキストマイニング分析ー児童の日常生活に関するテキストの考察を中心にー」『比較文化研究』No.155 日本比較文化学会
- 5100)王詩淇(2024)「『満洲国』新学制後の『在満朝鮮人』初等学校第一・第二学年の日本語教科書に描かれた日本人像ー漢民族学校との比較を視点にー」『新世紀人文学論究』第8号 新世紀人文学研究会
- 5101)王剣豪(2024)「山口喜一郎の台湾における『成功体験』」『新世紀人文学論究』第8号 新世紀人文学研究会
- 5102)會田篤敬(2025)「日本語教育史の学問的魅力に関する省察」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5103)赤松美和(2025)「ハワイのアメリカ化教育政策における越境教育ー1920年代の日本語学校問題とフレンド平和奨学金の日本留学支援への道ー」『評論・社会科学』No.153 同志社大学社会学会
- 5104)阿部(董)夢(2025)「日本の留学生政策の変遷と展望ーライフキャリア支援の視点からー」『愛知淑徳大学論集. グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇』第17号 愛知淑徳大学グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科
- 5105)飯田朋子(2025)「ブラジル日本語教育における言語政策についての考察ー日本語教育関連機関の政策から探る日本語教育の現状ー」『海外日本語教育研究』第20号 海外日本語教育学会
- 5106)飯塚友佳子(2025)「越境する中南米ニッケイ人子弟の教育問題ーなぜ大阪市から群馬県へと移り住む在留ブラジル人（子弟）が多いのかー」『佛教大学大学院紀要. 社会学研究科篇』第53号 佛教大学
- 5107)飯野令子、スプリスガルト友美(2025)「グダニスク大学の日本語教育における常磐大学交換留学生プログラムの役割ー両大学の連携の視点からー」『人間科学』第43巻第1号 常磐大学人間科学部



- 5108)井下田貴子、沖本与子(2025)「CJL 漢字科目におけるオンライン教材開発－開発過程と運用－」『早稲田日本語教育実践研究』第 13 号 早稲田大学日本語教育研究センター
- 5109)井竿富雄(2025)「台湾で生まれた日本語」『山口県立大学学術情報』18 巻 山口県立大学
- 5110)石田喜美(2025)「国語（科）教師教育における言語・言語教育ビリーフの育成－教員養成課程初年次生・留学生共同ワークショップの実践に対する批判的考察－」『国語科教育』第 98 集 全国大学国語教育学会
- 5111)石鍋浩、安龍洙(2025)「日本語教師による留学生観の質的データに対する経時的検討」『留学生交流・指導研究』Volume 27 国立大学留学生指導研究協議会
- 5112)泉史生(2025)「資料解説：『臺灣教科用書國民讀本卷二』－伊那市創造館所蔵：明治 34 年 3 月 25 日発行版－」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5113)伊藤浄江(2025)「30 年の NPO 活動から考える外国人の子どもの教育保障」『ボランティア学研究』Vol.25 国際ボランティア学会
- 5114)伊藤孝行(2025)「テキストアナリシスによる明治期日本語教科書宏文学院『日本語教科書』の検証」『新世紀人文学論究』第 9 号 新世紀人文学研究会
- 5115)伊藤翼斗、大河内瞳、香月裕介(2025)「『日本語教育』における質的研究的側面の分析－日本語教育学の体系化に向けて－」『日本語教育』191 号 日本語教育学会
- 5116)井上博文、傅玉香、堀淳一、小路口真理美(2025)「対等で互恵的な双方向的な学びを志向した海外日本語学科への授業支援－漢文教材と短歌の批評を用いた協働授業の試み－」『大阪教育大学紀要 人文社会科学・自然科学』第 73 巻 大阪教育大学
- 5117)今井智絵(2025)「歴史を学び、未来を築く－つながりの中で学んだ日本語教育史－」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5118)上田崇仁(2025)「1940 年代『毎日新報』連載の「国語」学習教材－「國語講座」1940 年 10 月 10 日から 1941 年 2 月 24 日（全 102 回）－」『南山大学日本文化学科論集』第 25 号 南山大学日本文化学科
- 5119)上田崇仁(2025)「『毎日新報』連載「「國語講座」「日常會話」「國語ノチカミチ」について」『新世紀人文学論究』第 9 号 新世紀人文学研究会

- 5120)宇賀神一(2025)「竹中憲一の仕事ー「満洲」教育史の基礎的研究ー」日本植民地教育史研究会(2025)『植民地教育史研究年報第 27 号 「満洲・満洲国」教育史研究の固有性と独自性を考える』皓星社
- 5121)江原裕美(2025)「ブラジルにおける日本語教育の現状と課題」『帝京大学外国語外国文学論集』第 13 号 帝京大学第 2 外国語部会
- 5122)遠藤佳那子(2025)「W.G.アストン『日本文語文典』初版 訳註稿(5)」『鶴見大学紀要. 第 1 部, 日本語・日本文学編』62 号 鶴見大学
- 5123)オウ・ガイモン(2025)「マカオにおける日本語学習者向けの初級コースデザインー文脈化と個人化を取り入れた初級授業の考案ー」『創価大学大学院紀要』第 46 集 創価大学大学院
- 5124)王伸子、斎藤達哉、金子里美(2025)「キリシタン資料は音読できたかーリーダー教科書としての天草版『伊曾保物語』『平家物語』ー」『人文科学年報』第 55 号 専修大学人文科学研究所
- 5125)太田浩(2025)「日本の留学生受入れ政策の変遷と検証、そして展望」『都市問題』第 116 巻第 12 号 後藤・安田記念東京都市研究所
- 5126)小川誉子美(2025)「修猷館教師小川直熙による英語講習会の報告 1922 年の石川林四郎と H.E.パーマーの講演」(公財)日本のローマ字社(2025)『Rômazi no Nippon』dai677gô Nippon-no-Rômaji-sya
- 5127)勝成仁(2025)「日本語教育史との関わり」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5128)上出大河(2025)「植民地期台湾における行為要求表現の諸相ー『全国小学児童綴方展覧会』採録「綴方」を対象としてー」『国学院大学日本語教育研究』第 16 号 国学院大学日本語教育研究会
- 5129)上出大河(2025)「日本語教育という営みに付随する本質的な恐ろしさの前でわなわなと誠実に震え続けるならば、何か見えてくることもあろう」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5130)川上尚恵(2025)「日本語教師養成課程(副専攻)における「日本語教育史」の教育実践」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5131)川口敦子(2025)「インディアス総合古文書館所蔵日本関係文書の利用ーFILIPINAS 文書を中心にー」『三重大学日本語学文学』第 36 号 三重大学日本語日本文学研究室

- 5132)川橋葉子(2025)「キャリアと日本語教育史」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5133)菊池誠(2025)「大学教育の国際化と教養教育における多文化間共修」『神戸大学大学教育研究』第33号 神戸大学大学教育推進機構
- 5134)岸本恵実、中野遙、白井純、豊島正之(2025)「キリシタン新出資料・トゥールーズ断簡―日葡辞書稿本とキリシタン版国字本を中心に―」『大阪大学大学院人文学研究科紀要』第2巻 大阪大学大学院人文学研究科
- 5135)北川裕子(2025)「地域にひとつ、生きる力になる日本語指導をする日本語教室があれば、多文化共生は築けるはず―地域の日本語教室が30年間果たしてきた役割―」『国際人流』424号 入管協会
- 5136)櫛引祐希子(2025)「日本語教員養成のための日本語の音声に関する動画教材の開発と活用」『大阪教育大学紀要 人文社会科学・自然科学』第73巻 大阪教育大学
- 5137)神代寿美枝(2025)「私の日本語教育史研究のはじまり」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5138)桑戸孝子(2025)「長崎総合科学大学別科日本語研修課程のあゆみ」『地域論叢：長崎総合科学大学地域科学研究所紀要』No.40 長崎総合科学大学地域科学研究所
- 5139)合津美穂(2025)「植民地台湾における日本語普及政策とその影響」『歴史地理教育』No.993 歴史教育者協議会
- 5140)合津美穂(2025)「1920年代における台湾公学校児童の学習状況―学籍簿を史料として―」日本植民地教育史研究会(2025)『植民地教育史研究年報第27号 「満洲・満洲国」教育史研究の固有性と独自性を考える』皓星社
- 5141)合津美穂(2025)「博士論文紹介：日本植民地期台湾公学校における「国語科」教育の植民地教育的・社会言語学的研究」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5142)國分建志(2025)「誤植の殿堂『説日語』―その誕生と変遷(十四)―」『文學藝術』71 共立女子大学文芸学部
- 5143)後藤加奈子(2025)「海外通信：近年のベルギーにおける日本語教育・学習事情―非母語話者の活躍の場―」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会

- 5144)SAITO, Tomoya(2025)「Ashida Enosuke's Postwar Educational Thought: From “Companions in Self-cultivation” and “Teachers and Students Sharing the Same Flow to “Let Us Grow Together”」『*Kokugakuin Japan Studies*』No.6 國學院大學 研究開発推進機構
- 5145)酒井順一郎(2025)「日本の回教工作と「蒙疆政權」における西北回教聯合会の教育事業」『新世紀人文学論究』第9号 新世紀人文学研究会
- 5146)坂田篤義(2025)「山口喜一郎の言葉の教育論と戦後の着地点」『専修大学外国語教育論集』第53号 専修大学外国語教育研究室
- 5147)櫻井豪人(2025)「『波留麻和解』における訳語の改訂と各伝本の性格ーライデン大学図書館蔵本二種を加えた上での分析ー」『人文社会科学論集』4 茨城大学人文社会科学部
- 5148)佐藤智照(2025)「日本語教育における『ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)』の受容ー移民の社会統合に資する日本語教育を目指してー」『島根大学外国語教育センタージャーナル』20巻 島根大学外国語教育センター
- 5149)佐藤尚子(2025)「千葉大学における日韓共同理工系学部留学生事業の20年」『千葉大学国際教養学研究』Vol.9 千葉大学国際教養学部
- 5150)實平雅夫、今西利之、藤平愛美、野畑理佳(2025)「変化する日本語教育の風景ーポストコロナ時代の言語学習とAI、日本語教員の国家資格化を踏まえてー」『間谷論集』第19号 大阪大学日本語日本文化教育センター
- 5151)徐一平、坂本恵、趙華敏、曹大峰、冷麗敏、薛鳴(2025)「中国の日本語教育ー歴史に学び未来につなぐー」『中国21』Vol.62 東方書店
- 5152)シュテファン・カイザー(2025)「「天草版ラテン文典」における日本語の記述と「日本大文典」への影響ーラテン語の不定法を中心にー」『国語研究』第88号 國學院大學国語研究会
- 5153)白柳弘幸(2025)「植民地統治期新竹州旧港公学校における児童の就学」『新世紀人文学論究』第9号 新世紀人文学研究会
- 5154)白柳弘幸(2025)「日本統治下台湾における国語講習所教科書」『玉川大学教育博物館紀要』第22号 玉川大学教育博物館
- 5155)城佳世(2025)「明治日本の国粋主義と唱歌教育ーわらべうたや日本民謡はどのようにあつかわれたかー」『九州女子大学紀要』第60巻1号 九州女子大学

- 5156)ジョン・ソヨン(2025)「日韓の外来語受容意識についてー昭和前・中期を中心にー」『筑波日本語研究』第 29 号 筑波大学大学院博士課程人文社会系日本語学研究室
- 5157)『新世紀人文学論究』編集委員会(2025)「日本語教育史研究の方法と課題ー民族の血と涙の史実を知るためにー」『新世紀人文学論究』第 9 号 新世紀人文学研究会
- 5158)瀬井陽子、義永美央子(2025)「言語学習アドバイジングの現場から見る留学生の日本語学習の現状と課題ーOU マルチリンガルプラザの事例からー」『多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集』第 29 号 大阪大学国際教育交流センター
- 5159)関口明子(2025)「半世紀にわたる日本語教育の土台づくりー「誰にでも」教える公益社団法人が築いたものー」『国際人流』432 号 入管協会
- 5160)高橋雅子(2025)「登録日本語教員に向けた日本語教員養成に関する研究の概観ー日本語教師を目指す非母語話者の研究に注目してー」『尚美学園大学総合政策論集』第 39 号 尚美学園大学総合政策学部総合政策学会
- 5161)高橋美奈子、渡真利聖子、天願千里佳、平良ゆかり(2025)「沖縄県北谷町における「日本語初期集中指導教室」の体制づくり」『琉球大学教育学部紀要』第 106 集 琉球大学教育学部
- 5162)竹口智之、中原美佳、石原瑞己(2025)『『Учебник японского языка』の語彙分析ー同時代の日本語教科書との比較からー』『兵庫教育大学研究紀要』第 67 巻 兵庫教育大学
- 5163)竹口智之(2025)「サハリン州の大学における日本語教育史ー開設期前後に受講した学生のインタビューをもとにー」『言語政策』21 日本言語政策学会
- 5164)田中寛(2025)「戦時期南方諸地域における日本語教育の一断面ー『大阪毎日新聞』(1942 年 8 月)の記事からー(1)」日本植民地教育史研究会(2025)『植民地教育史研究年報第 27 号 「満洲・満洲国」教育史研究の固有性と独自性を考える』皓星社
- 5165)田中寛(2025)「戦時期の日本の新聞は南方諸地域の植民地教育施策をどう伝えたかー日本語教育、皇民化教育を中心にー」『新世紀人文学論究』第 9 号 新世紀人文学研究会
- 5166)田中寛(2025)「日本軍政下のインドネシアで発行された邦字紙に見る日本語教育・普及工作の実態ー軍政期初期の「うなばら」を例にー」『大東文化大学紀要』第 63 号 大東文化大学

- 5167)田中祐輔(2025)「共創のための日本語教育ー日本社会の変容と制度的変遷からみる日本語教員養成の課題と展望ー」『文藝言語研究』87 巻 筑波大学大学院人文社会科学部 文芸・言語専攻
- 5168)ダリナ・グヌトヴァ(2025)「「孤独」を切り口にした持続可能性日本語教育のための文献紹介ーウクライナ大学生と日本人大学生を対象にー」『人間情報学研究科年誌』第 30 号 東北学院大学大学院人間情報学研究科
- 5169)趙華敏(2025)「中国における大学日本語教育の現在と未来ーここ二十年の変化を中心にー」『中国 21』Vol.62 東方書店
- 5170)陳芸謀(2025)「戦時下の日本語教科書を手に取って」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5171)柄田千尋(2025)「バレット写本のタ行二重子音表記」『日本語の研究』第 21 巻第 1 号 日本語学会
- 5172)辻本桜子(2025)「中間言語語用論における「助言」研究の概観と課題ー1990 年から 2023 年までの研究を対象にー」『甲南大学全学共通教育センター紀要』第 3 号 甲南大学全学共通教育センター
- 5173)坪田珠里(2025)「研究活動紹介：日越交流の視点から見るベトナムの日本語教育史ー日仏共同支配期から 1990 年代ー」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5174)段建秀(2025)「「ての」に関する先行研究と問題点の整理」『北海道大学大学院文学部研究論集』第 24 号 北海道大学大学院文学部
- 5175)時野加奈子(2025)「技能実習制度の過渡期における送り出し国の日本語教育の調査プロジェクト」『年報 2024：名古屋大学大学院人文学研究科教育研究推進室』名古屋大学大学院人文学研究科教育研究推進室
- 5176)徳久圭、郭旻恵、唐澤麻里、桑原里奈、アルバーディング聖子(2025)「日本語通訳ビジネス科における日本語劇への取り組みー実践報告ー」『文化外国語専門学校紀要』第 37 号 文化外国語専門学校
- 5177)徳間望(2025)「インド北東州における日本語教育の歴史とこれから」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会

- 5178)中尾真央(2025)「コロナ禍における日本語教育の取り組みと課題ー鹿児島国際大学のオンライン授業を事例としてー」『国際文化学部論集』第26巻第2号 鹿児島国際大学国際文化学部
- 5179)中川祐治(2025)「児童生徒等に対する日本語教育人材研修事業の成果と課題ー文化庁委託研修事業を中心にー」『日本語教育』190号 日本語教育学会
- 5180)長坂康代(2025)「日本に私費留学する若者ベトナム人の獲得と送出しーハノイV日本語学校を事例にしてー」『新潟国際情報大学 国際学部紀要』第10号 新潟国際情報大学国際学部
- 5181)中道知子(2025)「日本語母語話者学生のための日本語クラス」『語学教育研究論叢』第42号 大東文化大学語学教育研究所
- 5182)二瓶知子(2025)「JSL漢字学習研究会のこれまで」『JSL漢字学習研究会誌』第17号 JSL漢字学習研究会
- 5183)『日本語教育史研究』編集委員会(2025)「十人十色の日本語教育史研究」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5184)二文字屋修(2025)「外国人介護労働者の受け入れと日本語教育」『日本語教育』191号 日本語教育学会
- 5185)野崎雅子(2025)「戦後日中関係における日本語教育思想ー日本語教育関係者の対中認識を中心にー」『社学研論集』Vol.45 早稲田大学大学院社会科学部
- 5186)野村淳一(2025)「朝鮮総督府編纂『簡易学校国語読本』についてー『普通学校国語読本』との比較を通してー」日本植民地教育史研究会(2025)『植民地教育史研究年報』第27号 「満洲・満洲国」教育史研究の固有性と独自性を考える』皓星社
- 5187)潘静(2025)「日本語の「配慮」に関わる研究の概観」『東京外国語大学大学院 言語・地域文化研究』第31号 東京外国語大学大学院総合国際学研究科
- 5188)日暮康晴(2025)「1890～1950年代の初級日本語教科書における副詞の使用状況と通時的変化ー「とても」類の副詞に注目してー」『国際日本研究』第17号 筑波大学人文社会科学部国際日本研究専攻
- 5189)檜山純子(2025)「マレーシアにおける日本語教育史の役割と可能性ー交流学习・アンケート調査からの考察ー」『新世紀人文学論究』第9号 新世紀人文学研究会

- 5190) 桧山真一(2025)「佐々木喜善とニコライ・ネフスキイーオシラ神の協同研究とその破綻(下)ー」『なろうど』89号 ロシア・フォークロアの会
- 5191) 平高史也(2025)「第27回ヨーロッパ日本語教育シンポジウムに参加して」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5192) 符旂恩(2025)「『満州国』の日本語教科書に見られるプロパガンダー『第二種初等日本語読本』を中心にー」『比較文化研究』158号 比較文化学会
- 5193) 胡偉、党星恵、星千尋(2025)「中国の大学における日本語教育と国・地域別研究の統合ー日本語専攻から日本学専攻へシフトカー」『早稲田日本語教育学』第38号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 5194) 二子石優(2025)「専門学校における外国人留学生受入れと日本語教育ー日本語教育の実施形態を類型化するー」『東洋大学国際教育センター紀要』第3号 東洋大学国際教育センター
- 5195) 古内綾子(2025)「教師の協働による日本語科目のレベル別到達目標の開発」『明治大学教養論集』583号 明治大学教養論集刊行会
- 5196) 古本裕美、松田嵐(2025)「長崎大学日本語・日本文化プログラムの変遷と課題ープログラム評価における自由記述の質的分析ー」『長崎大学留学生教育・支援センター紀要』第7号 長崎大学留学生教育・支援センター
- 5197) Hoang Ngoc Bich Tran(2025)「外国人技能実習生のキャリアを支える日本語教育に関する研究ー文献レビューから見た動向と課題ー」『関係性の教育学』Vol.24, No.1 関係性の教育学会
- 5198) 細井駿吾(2025)「日本語教育史に関心を持つまでの歩み」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5199) 包賀喜格図(2025)「『満州国』の東部内モンゴルにおける日本語教育について」『九州共立大学研究紀要』第15巻第2号 九州共立大学
- 5200) 前田均(2025)「資料解説：台北第二中学校『常用語辞典』昭和10年、新高堂書店」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5201) 前田均(2025)「戦前・戦中期の日本語学・日本語教育の負の遺産」日本植民地教育史研究会(2025)『植民地教育史研究年報第27号 「満洲・満洲国」教育史研究の固有性と独自性を考える』皓星社



- 5202)松永典子(2025)「日本語教育史研究と日本語教育、平和教育の接点―戦争の記憶×俳句交換がもたらすもの―」『新世紀人文学論究』第9号 新世紀人文学研究会
- 5203)松永典子(2025)「日本語教育史研究との出会い」『日本語教育史研究』Vol.4 日本語教育史研究会
- 5204)三戸貴史(2025)「「やさしい日本語」に関する日本人の意識―先行研究との比較と、回答者の日本語教育に関する知識の有無の観点から―」『学習院大学大学院日本語日本文学』21号 学習院大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻
- 5205)南浦涼介(2025)「第16章 ことばとシティズンシップ教育」北山夕華、古田雄一、川口広美、斎藤仁一郎、川中大輔編・日本シティズンシップ教育フォーラム監修(2025)『民主的社会をつくるシティズンシップ教育―理論と実践の現在―』ナカニシヤ出版
- 5206)宮内崇敏(2025)「ウズベキスタン日本語学校「Noriko 学級」における長期教育活動の成果報告―教室がある意味についての再考―」『海外日本語教育研究』第19号 海外日本語教育学会
- 5207)宮本恭子(2025)「生活者としての外国人が包摂される社会をめざして:「ことばのヤングケアラー」―ことばとケアのまなざしから―」『社会文化論集』21巻 島根大学法文学部
- 5208)村松由起子、石毛順子(2025)「豊橋技術科学大学における日本語教育の変遷―学部を中心に―」『雲雀野: 豊橋技術科学大学人文科学系紀要』47号 豊橋技術科学大学
- 5209)安田敏朗(2025)「日本ローマ字会の「大東亜戦争」―時局と言語運動―」『新世紀人文学論究』第9号 新世紀人文学研究会
- 5210)家根橋伸子、小口悠紀子、山本晋也、帖佐幸樹(2025)「外国人住民を社会につなぐ人と活動と日本語教育―地域日本語教室活動の広がりをめざして―」『広島大学日本語教育研究』第35号 広島大学大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム
- 5211)山口雅代、วลัยพร กาญจนการุณ(Walaiporn Kanjanakaroon)、ธนานัท ญ์ไญ(Thananat Panyo)、川口泰広(2025)「1945年までのタイにおける日本語教育史の中のチェンマイ日本語学校―チェンマイでの調査とともに―」『新世紀人文学論究』第9号 新世紀人文学研究会

- 5212)山口雅代(2025)「戦時下のコタバル日本語学校とソンクラーの状況ーコタバルとソ  
ンクラーの調査報告ー」『東京福祉大学・大学院紀要』第 15 巻第 1-2 合併号 東京福  
祉大学・大学院
- 5213)山田昇平(2025)「『サントスの御作業』にみるキリシタン版ローマ字正書法の成立過  
程」『訓点語と訓点資料』第 154 輯 訓点語学会
- 5214)山本弘子(2025)「企業における日本語学習支援のかたちを考えるー語学教育潮流の  
変化との連携へー」『国際人流』423 号 入管協会
- 5215)山脇圭(2025)「日本語教育に関する研究の成果と課題ー1970 年代以降に来日した  
移民を対象とする研究を中心にー」『社会学論集』No.24 中京大学大学院社会学研究  
科
- 5216)吉井雄樹(2025)「日本語教育における教科書分析の視点とこれからの研究課題ー  
『日本語教育』1 号から 185 号までの文献調査ー」『言語コミュニケーション文化』  
Vol.22, No.1 関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化学会
- 5217)林洪(2025)「中国基礎教育段階における日本語教材開発（一九四九～二〇二四年）」  
『中国 21』Vol.62 東方書店
- 5218)呂建輝(2025)「日本と中国で出版された日本語教科書の比較研究ー収録語彙の側面  
からー」『文化共生学研究』第 24 号 岡山大学大学院社会文化科学研究科
- 5219)Rudy Toet(2025)「近世長崎における日本語研究」『西日本文化』No.516 西日本文  
化協会
- 5220)渡邊奈那(2025)「専門日本語教育としての介護の日本語教育ー文献レビューによる  
検討ー」『人間情報学研究科年誌』第 30 号 東北学院大学大学院人間情報学研究科
- 5221)永島育(2026)「はじめて日本語を学んだ「土耳其」軍人ームスタファ・アースム  
ー」NPO 法人日本トルコ交流協会監修、ヤマンラール水野美奈子・佐々木紳編著  
(2026)『日本トルコ交流秘史ーイスタンブル旧総領事館の 100 年ー』勉誠社